



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成22年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成22年6月	平成22年9月	前回調査比
茨城県	46.0	43.6	△2.4
県北地域	46.1	42.5	△3.6
県央地域	47.0	42.1	△4.9
鹿行地域	45.5	41.7	△3.8
県南地域	45.5	48.7	+3.2
県西地域	45.8	43.0	△2.8

《景気の先行き判断DI》

	平成22年6月	平成22年9月	前回調査比
茨城県	48.4	41.2	△7.2
県北地域	46.6	40.8	△5.8
県央地域	49.1	40.4	△8.7
鹿行地域	47.3	41.2	△6.1
県南地域	49.5	44.4	△5.1
県西地域	50.0	39.0	△11.0

平成22年10月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成22年9月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成22年9月調査の調査期間は平成22年9月1日から平成22年9月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは43.6となった。6月調査分より2.4ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

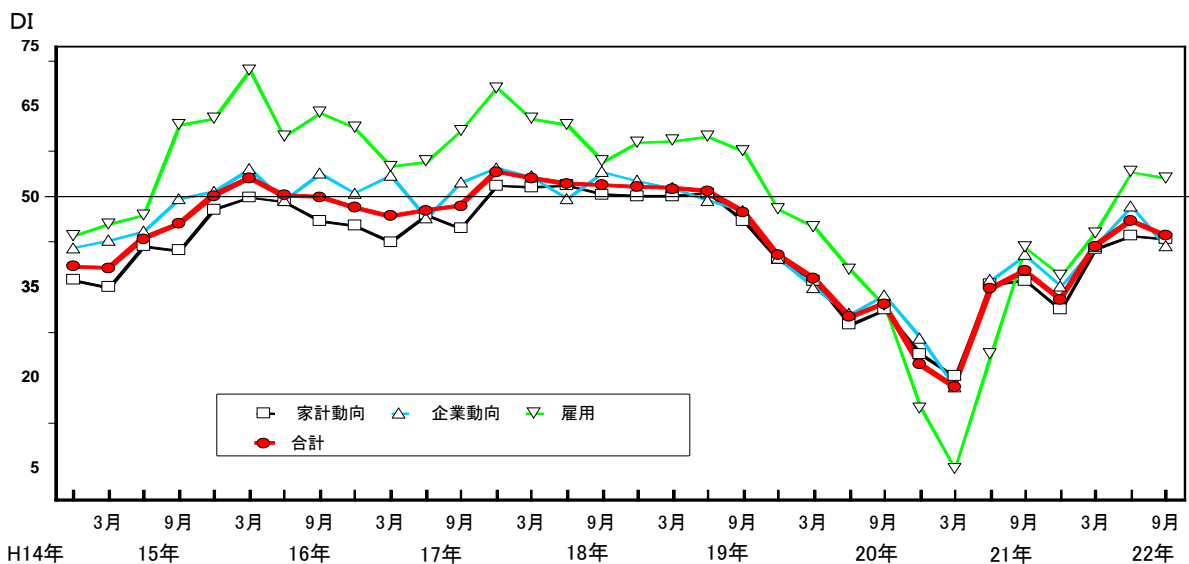
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計		37.8	33.0	41.8	46.0	43.6
家計動向関連		36.1	31.4	41.4	43.6	43.1
小売関連		35.8	27.0	38.0	44.0	49.0
飲食関連		36.3	33.8	42.5	47.2	40.0
サービス関連		35.3	33.3	42.7	41.2	36.9
住宅関連		44.4	44.4	55.6	52.8	58.3
企業動向関連		40.5	35.2	41.8	48.5	41.9
農林水産業		46.9	40.6	43.8	46.4	42.9
製造業		40.8	39.1	41.8	48.3	40.6
非製造業		38.3	27.6	41.1	49.2	43.5
雇用関連		41.7	37.0	44.0	54.2	53.1

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成21年 9月	0.7%	8.2%	47.8%	28.2%	15.1%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	38.1%	32.9%	21.8%
平成22年 3月	1.8%	9.6%	52.1%	27.0%	9.6%
平成22年 6月	1.5%	19.0%	50.4%	20.4%	8.8%
平成22年 9月	1.7%	15.8%	47.3%	25.7%	9.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは41.2となった。6月調査分より7.2ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

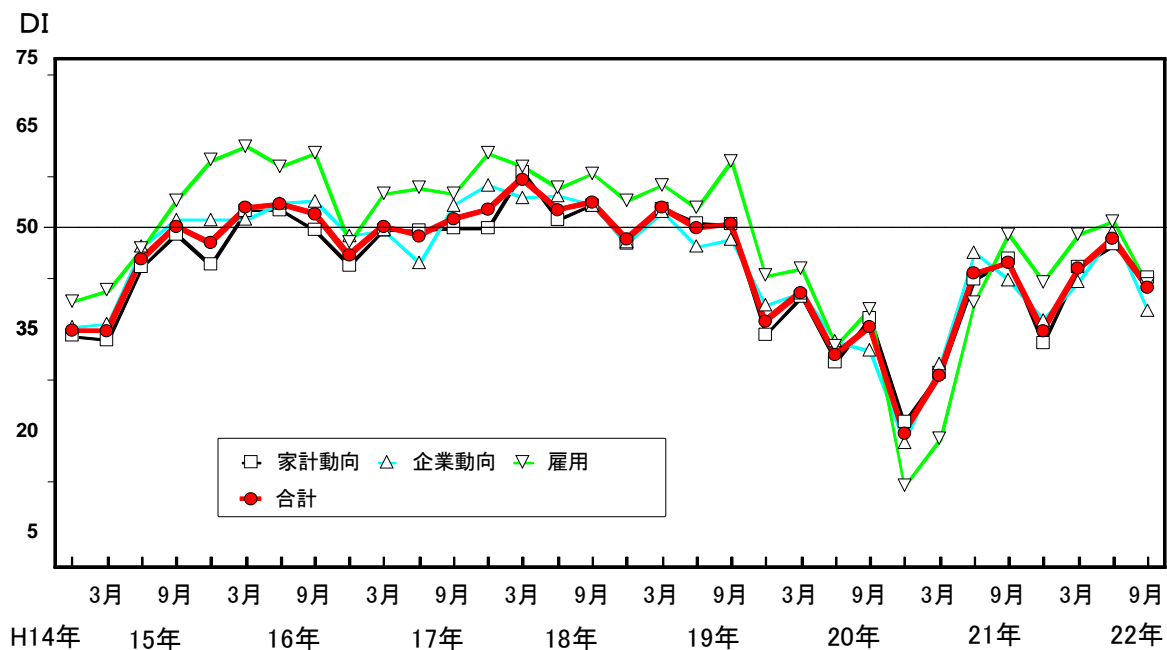
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計		44.8	34.8	44.0	48.4	41.2
家計動向関連		45.5	33.0	44.2	47.6	42.7
小売関連		43.2	34.5	43.3	48.1	39.4
飲食関連		51.3	27.5	47.5	51.4	47.5
サービス関連		45.6	30.8	43.4	45.3	43.1
住宅関連		50.0	52.8	50.0	55.6	55.6
企業動向関連		42.3	36.4	42.1	49.4	37.8
農林水産業		53.1	40.6	43.8	57.1	46.4
製造業		39.7	37.5	40.2	47.8	33.3
非製造業		43.3	33.6	44.4	50.0	42.7
雇用関連		49.0	42.0	49.0	51.0	41.7

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.7%	14.4%	57.4%	18.6%	8.9%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	42.9%	30.4%	19.4%
平成22年 3月	0.4%	12.1%	58.2%	22.0%	7.4%
平成22年 6月	0.7%	19.3%	57.3%	18.2%	4.4%
平成22年 9月	1.0%	7.5%	55.8%	26.4%	9.2%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.5となった。6月調査分より3.6ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計		35.4	39.0	40.2	46.1	42.5
	家計動向関連	31.8	37.5	39.4	45.0	37.8
	企業動向関連	41.7	44.4	40.3	44.4	47.2
	雇用関連	40.0	30.0	45.0	60.0	60.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%
平成21年 9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%
平成21年 12月	3.4%	10.2%	35.6%	40.7%	10.2%
平成22年 3月	3.6%	3.6%	53.6%	28.6%	10.7%
平成22年 6月	5.0%	13.3%	40.0%	30.0%	11.7%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.1となった。6月調査分より4.9ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計		37.3	33.9	42.4	47.0	42.1
	家計動向関連	37.5	35.5	44.1	44.6	44.9
	企業動向関連	35.9	25.0	40.6	53.1	32.8
	雇用関連	40.0	50.0	35.0	45.0	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	6.8%	47.5%	33.9%	11.9%
平成21年 12月	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	23.7%
平成22年 3月	1.7%	10.2%	50.8%	30.5%	6.8%
平成22年 6月	3.4%	20.7%	44.8%	22.4%	8.6%
平成22年 9月	0.0%	18.3%	45.0%	23.3%	13.3%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは41.7となった。6月調査分より3.8ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		36.8	28.1	38.4	45.5	41.7
	家計動向関連	36.5	24.3	38.5	42.1	43.2
	企業動向関連	36.7	38.3	35.9	50.0	36.7
	雇用関連	40.0	25.0	45.0	55.0	45.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	7.0%	50.9%	24.6%	17.5%
平成21年 12月	0.0%	7.0%	28.1%	35.1%	29.8%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	44.8%	27.6%	15.5%
平成22年 6月	0.0%	20.0%	50.9%	20.0%	9.1%
平成22年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	21.1%	12.3%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは48.7となった。6月調査分より3.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		40.2	34.6	44.4	45.5	48.7
	家計動向関連	37.1	33.6	39.8	42.5	49.3
	企業動向関連	45.3	35.3	50.0	48.4	47.2
	雇用関連	45.0	40.0	55.0	56.3	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	1.8%	5.4%	57.1%	23.2%	12.5%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	36.8%	42.1%	14.0%
平成22年 3月	1.9%	7.4%	63.0%	22.2%	5.6%
平成22年 6月	2.0%	12.0%	56.0%	26.0%	4.0%
平成22年 9月	3.4%	19.0%	50.0%	24.1%	3.4%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは43.0となった。6月調査分より2.8ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

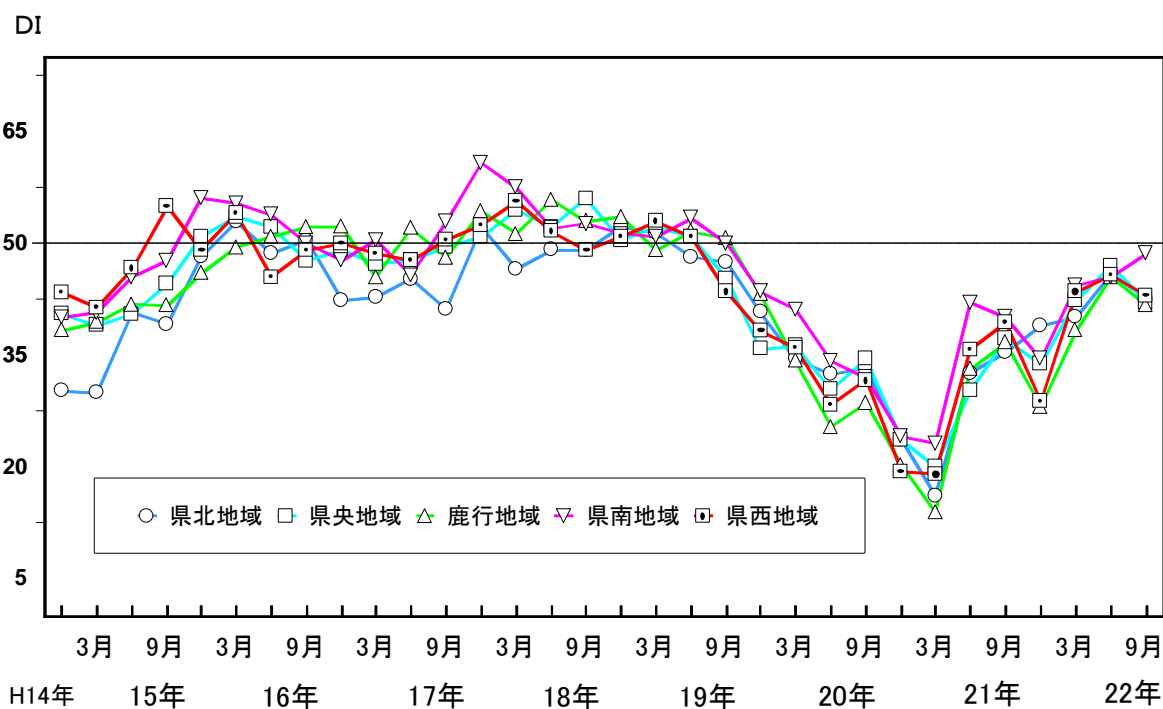
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月				
	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計	39.4	28.9	43.6	45.8	43.0
家計動向関連	37.5	25.7	45.3	43.5	40.4
企業動向関連	42.1	32.4	41.7	47.1	43.4
雇用関連	43.8	40.0	40.0	55.0	62.5

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	1.7%	11.9%	44.1%	27.1%	15.3%
平成21年 12月	0.0%	1.8%	43.9%	22.8%	31.6%
平成22年 3月	1.8%	14.5%	49.1%	25.5%	9.1%
平成22年 6月	0.0%	17.0%	56.6%	18.9%	7.5%
平成22年 9月	0.0%	15.8%	47.4%	29.8%	7.0%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは40.8となった。6月調査分より5.8ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		44.6	35.6	40.2	46.6	40.8
	家計動向関連	43.2	35.4	39.4	45.0	41.2
	企業動向関連	45.8	37.5	40.3	47.2	38.9
	雇用関連	50.0	30.0	45.0	55.0	45.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	1.7%	10.0%	61.7%	18.3%	8.3%
平成21年 12月	1.7%	6.8%	39.0%	37.3%	15.3%
平成22年 3月	0.0%	8.9%	53.6%	26.8%	10.7%
平成22年 6月	1.7%	17.2%	51.7%	24.1%	5.2%
平成22年 9月	3.3%	5.0%	50.0%	35.0%	6.7%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは40.4となった。6月調査分より8.7ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		41.9	37.7	47.0	49.1	40.4
	家計動向関連	42.8	38.2	48.7	50.0	42.9
	企業動向関連	39.1	37.5	48.4	50.0	37.5
	雇用関連	45.0	35.0	30.0	40.0	30.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	25.4%	10.2%
平成21年 12月	1.7%	1.7%	55.9%	27.1%	13.6%
平成22年 3月	0.0%	16.9%	59.3%	18.6%	5.1%
平成22年 6月	0.0%	24.1%	55.2%	13.8%	6.9%
平成22年 9月	0.0%	10.0%	55.0%	21.7%	13.3%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは41.2となった。6月調査分より6.1ポイント低下した、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断D I

分野		調査月				
		平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合 計		44.7	36.8	43.1	47.3	41.2
家計動向関連		43.9	30.4	41.9	46.4	41.9
企業動向関連		45.0	48.3	43.8	45.0	35.0
雇 用 関 連		50.0	50.0	50.0	60.0	55.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	17.5%	54.4%	17.5%	10.5%
平成21年 12月	0.0%	10.5%	45.6%	24.6%	19.3%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	58.6%	19.0%	10.3%
平成22年 6月	0.0%	16.4%	61.8%	16.4%	5.5%
平成22年 9月	0.0%	5.3%	64.9%	19.3%	10.5%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは44.4となった。6月調査分より5.1ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断D I

分野		調査月				
		平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合 計		45.1	33.8	45.4	49.5	44.4
家計動向関連		45.7	33.6	43.0	49.2	45.7
企業動向関連		42.2	30.9	44.1	50.0	43.1
雇 用 関 連		50.0	45.0	65.0	50.0	40.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	14.3%	58.9%	19.6%	7.1%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	38.6%	35.1%	19.3%
平成22年 3月	1.9%	11.1%	61.1%	18.5%	7.4%
平成22年 6月	2.0%	16.0%	62.0%	18.0%	2.0%
平成22年 9月	1.7%	8.6%	58.6%	27.6%	3.4%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは39.0となった。6月調査分より11.0ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

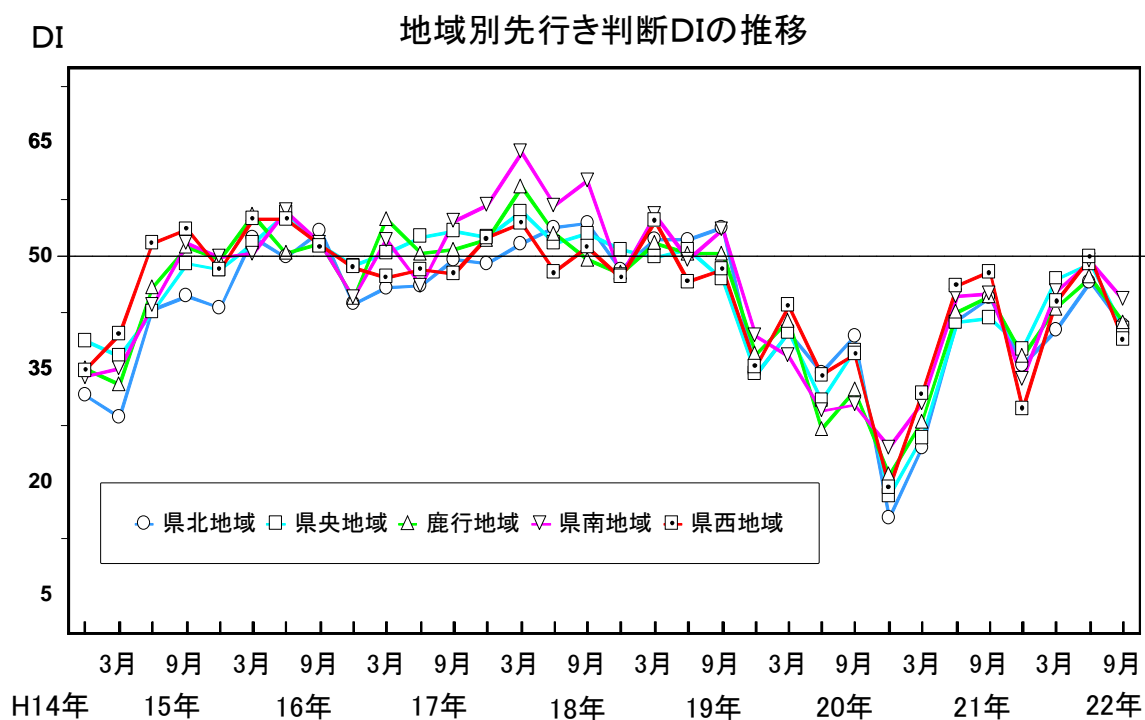
表2 - 19 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月
合計	47.9	29.8	44.1	50.0	39.0
家計動向関連	52.1	27.1	47.7	47.6	41.9
企業動向関連	39.5	29.4	34.7	54.4	34.2
雇用関連	50.0	50.0	55.0	50.0	37.5

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	1.7%	16.9%	61.0%	11.9%	8.5%
平成21年 12月	0.0%	7.0%	35.1%	28.1%	29.8%
平成22年 3月	0.0%	10.9%	58.2%	27.3%	3.6%
平成22年 6月	0.0%	22.6%	56.6%	18.9%	1.9%
平成22年 9月	0.0%	8.8%	50.9%	28.1%	12.3%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	292 人	97.3%
県北地域	60 人	60 人	100.0%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

Ⅲ 景気判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	7月、8月、9月初旬と異例の猛暑であったため、ドリンク、アイス、冷たい麺などを目的に昼夜問わず客数が増加しています。夏休みでもあったため、非常に効果が高かったため。週末も天気が良く、雨がほとんど降らなかったため、行楽客の増加につながりました。
	企業	水産業関係者	茨城の漁業者は、大型船(まき網漁業)は、鰯、鯖、イカ等が昨年より豊漁で安定した成績となっており、又、小型船は茨城海面全体でシラスの大漁が続き、冷凍業者、加工業者も生産に全力で取り組んでいます。3か月前から見ると、景気が大幅に改善されております。
		運輸業	常陸那珂港の貨物量は右肩上がりに増えていて、将来的にも希望が持てそうな感じです。ただ、その他の既存の顧客の貨物量の減少で、「相対的には少し増えている。」という感じです。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	目新しい物、多少単価が高くても新たな商品の購買意欲は高まっていると感じる。また、1人当たりの買上点数が昨年を超えている店舗も増加傾向にあることからやや良くなっていると思う。
		小売業(工具)	自動車関連事業は回復しつつあると思われる。
		小売業(燃料)	売上げ高 多少上向き。
		スナック	お客様が元気になって回数が増えた気がするから。
	企業	製造業(精密機器)	仕事が増えている。引き合い多い。
		製造業(電気機械器具)	同業会社でソフトバンクの仕事が忙しくなって来たようだ。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数は、対前月比で25.8%の増加となった。新規求人倍率でみると、0.95倍となり、これは過去1年間で最も高い倍率となった。また新規求職者数は、対前月比で4ヶ月連続で減少傾向にあることから、景気の回復については、ゆるやかな持ち直しの動きがみられる。
学校就業関係者		前年度に比べ若干ではあるが、求人が増えている様子がある。	
変わらない	家計	商店街代表者	多少近隣で関係する仕事が出て来てはいるが、あいかわらず価格競争が厳しく、売上になかなかつながらない。
		スーパー	客単価に変動なし。
		スーパー	バラ売りでの販売が客数増加に効果あるが、価格によって大きく数字が違う。品の良さ・大きさはあまり比較されず、単価によって動く。(変化する)その傾向は変わっていない。買上の点数も増加傾向にはなっていない。少し減少傾向。
		衣料品販売店	依然として買い控えが続いている。
		金物・荒物・建築資材	売上が伸びないし、客自身の売上也伸びていない。
		小売業(靴製品)	入店客数が変わらない。
		旅行代理店	利用単価が上がらない。
		タクシー運転手	現状維持がやっとの状態です。
		タクシー運転手	営収ほとんど変わらない。
		タクシー運転手	3ヶ月前と、売上げに変化がないため。
		ゴルフ場	天候(気温)の問題もあれど、景気低迷の影響は大きい。依然として低価格が続いており予約サイトの直前情報(安価)での予約が増加している。
		住宅販売会社	猛暑による影響で家電関係は好調のようだが、全体的には際立った動きがみられない。
	企業	林業関係者	杉素材(3.0~3.65m)の販売率は変わらないが、後半に期待したい。
		製造業(一般機械器具)	受注数、作業量、出荷数から判断して特に良くも悪くもなっていない。
		製造業(電気機械器具)	輸出案件(中国向け)が増えたものの、国内向けが低調を継続し、3ヶ月前と同レベルである。
		製造業(輸送用機械器具)	国内エコカー税制打ち止めに伴う駆け込み需要主体に支えられ生産は顕著、景気上向きを感じる。
		情報通信業(情報サービス)	3ヶ月前と変わりがなく、相変わらず商談が少ない。
		不動産業	マンションなどは堅調に推移するも、戸建住宅・宅地に関しては顧客の購買意欲はまだ盛り上がっていない。
	雇用	運輸附帯サービス業	メーカー側の受注・業績が全く改善傾向になく、請負人員の減少も要求されている。ワークシェアの強化により対応せざるを得ない状況である。
求人広告		今年の夏は昨年より求人が増えた。景気回復ではなく、季節柄忙しい企業の募集であり、全体的な状況ははっきりしない。	
求人開拓員		家電品製造メーカーでは、派遣・請負の募集が出ているが、本来の正社員雇用は増えていない為、景気上昇には繋がらないと思われる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	来客数が減っている！！
		自動車販売店	エコカー補助金の効果で新車の販売が多少上向きだったが、補助金終了間近になり、動きも鈍くなってきた。
		小売業（酒類）	専門店ならではの、管理、知識を生かした高額商品の動き、減少傾向。
		レストラン	客足も少なくなっているため、財布の紐がかたい様に思います。
		居酒屋	来店客が少ない。
		和食食堂	3ヶ月前と比べて売り上げが落ちている。
		観光型ホテル	例年のことながら、年間を通して9月は来場者が落ち込む為。業種がら時期的な要因となります。
		観光型ホテル	宿泊予約については、前年同期と比較し団体の予約が減少している。団体の方が客単価は高い為、宿泊者が前年同期と同じであっても売上が下がってきている。
		タクシー運転手	暑すぎるせいか人の流れが悪くなっている。
		ドライブイン	売上高・客数ともに昨年度を下回っています。
		ゴルフ場	記録的猛暑や景気の低迷で苦戦を強いられた。屋外のレジャー産業には非常に厳しい夏であったのではないかと。
		ボウリング場	客の減少。
	レジャー施設	来客数が前年同期に比して増えているのに対し、売上が落ちた。また、3ヶ月前と比しても客単価が落ちていることから「やや悪い」と判断した。	
	企業	製造業（製缶）	売上で10%程度落ち込んでいる。（但し昨年同時期の累計では、15～20%売上客が減少している）
製造業（電気機械器具）		3ヶ月前と比べるとやや受注量が増えてはいるが、一時的なものであり今後も継続する見通しがない。	
建設業		特に民間工事の受注単価は低下傾向にあり、お客様の投資予算の厳しさを感じる。	
金融業		直近の3ヵ月においては、融資条件変更の申込みについて減少の傾向が見られるが、銀行預金を含める自己資金の取崩しにより資金繰り対応している中小企業者や個人事業者が増加している。今後、自己資金の枯渇も考えられ、再度、条件変更が増加する懸念がある。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	消費マインドの低下、低価格指向等により業績悪化。内部留保の提供により将来営業展開に不安をおぼえる。
		小売業（水産物）	客数はそのままだが、購入価格がかなり減っている。高価な商品が売れない。
		観光型ホテル	休みの多い夏が過ぎたためか、宿泊・食事ともに客数が減っています。
		ゴルフ場	1. 来場数が6月時点に比して、15ポイント流れが落ちている。 2. 酷暑の為、予約辞退が前年比151ポイント上昇している。 3. 異常気象で、芝生などの管理に大かわらわ。
		クリーニング店	客数が大幅に減少している。
	企業	製造業（電気機械器具）	作業量が減って来ている為。
製造業（電気機械器具）	受注額が減少している。		

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	以前に比べセットでまとめ買いをするお客様が増えてきている。	
		コンビニエンスストア	3ヶ月前と比較して建築関係のお客様が増えている。特に朝・昼の来店が多く、デイリー商品中心に販売が伸長している為。	
		家電販売店	天気の関係でエアコンは出た。エコポイントの関係でテレビの売上も伸びた。	
		自動車販売店	9月までの補助金を利用して、買い替えの駆け込みのお客様を中心にコンパクトカーの受注が増えています。	
		タクシー運転手	年末をひかえ、タクシーの利用が多くなると思う為。	
	企業	建築設計事務所	ゆっくりだが受注が増えて来ている。	
		住宅販売会社	建築意欲の高まりを感じる。エコポイントの影響も多少出ているようだ。	
		製造業(金属製品)	見積依頼や引合い件数が増えつつある。受注残も以前は0.5～1.0ヶ月が当たり前だったが、現在は2.5～3.0ヶ月程度まで回復。昨年度と本年度の上半期は雇用助成金を活用したが、現在は活用せずに一定以上の稼働率を保っている。但し、単価については非常に厳しいままで、将算割れ単価が一般化している。	
		製造業(一般機械器具)	建設機械関連、医用関連、自動車の一部に元気が見られ、多少作業量も一時増えました。	
	雇用	公共職業安定所	OEM(相手先商標ブランド)製品の受注が売上に計上出来る為。	
	変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	売上高前年同月比の推移は、3ヶ月前と比較して変化が見られないため。
			スーパー	・客単価は下がり、客数は増えている。 ・特売品等に集中する。 夏が暑く長いので、氷・アイス等夏商材が売れた。
			スーパー	セール品、低単品の動きで1人当たりの単価も伸び悩んでいる。お客様は冷静に、必要な商品だけの購入が目立っていると思います。
			スーパー	実績数値から判断すると、ほぼ横ばいです。
農産物直売所			今月の前年比・3ヶ月前の前年比で見ると、ギフト商品の売れ行きは変わらない。自家用の嗜好品、果物・高級調味料の売れ行きは変わらない。高級和牛の売れ行きは相変わらず低迷している。飲食部門の売れ行きは相変わらず低迷している。	
専門スーパー			相変わらず良くない、7月は夏物商品で良かったが、8月中旬より急に悪くなった。	
専門スーパー			特に、建築関係の商品動向が悪く、また、購入量も以前よりも減っている。暑さの為か、一般の方のDIY関連品の購入が少ない。	
レストラン			前年の3ヶ月前と比較して、来館人数は120%と大きく向上したが、お客様1人当たりの単価は下がっており、変わらず財布の紐は堅いようだ。	
レストラン			ご予約を頂いています件数・売上から判断しまして、3ヶ月前とさほど変わっていないと感じます。	
都市型ホテル			平日と週末利用割合が3ヶ月前と変化がない。	
都市型ホテル			例年9月は宴会等の予約は少ないが、昨年より予約状況は厳しく、3ヶ月前と比べ予約の伸び率は変わっていない。	
観光型ホテル			台風もなく天候に恵まれた一面もあるがおおむね例年並に推移している。	
旅行代理店			法人需要の回復を期待していたが、期待値までは至っていない。国内旅行は前年割れ、海外は二桁の伸びを示しているが合計では微増、昨年はインフルエンザの影響も大きく2008年比較ではショートしており苦しい状況は変わらない。	
タクシー運転手			特に何も変動ありません。	
ドライブイン		客数はわずかに増えているが、客単価が下がっている。来店はしても商品をあまり買わない傾向にあり、厳しい状況に変わりはない。		
ボウリング場		前年比ダウンの傾向は続いているが、ダウン率がかなり改善されてきている。		
カラオケ店		売上、客数等から考えて、さほど変化がないため。		
レジャー施設	利用状況、新規問い合わせ状況に変化がないため。			

やや悪くなっている		レジャー施設	猛暑のせいで客足が鈍っているが、平日の入場者数が若干伸びてきているので、休日への集中型ではなく平均化してきているのではないと思う。	
	企業	塗装業	建築物の発注が少ない。	
		運輸業（道路貨物運送業）	猛暑日が続いたことにより、業種によって明暗が分かれている。	
		金融業	業績向上している中小企業は一部である。各々改善努力はしているものの、業績の回復には至っていない。足許の円高の影響で製造・輸出関連企業は業績悪化が予想され、今後とも厳しい経営環境が続くと思われる。	
		不動産業	来客数に差を感じない。ロードサイド店舗の成約が伸びたが一時的なものと思う。	
	雇用	人材派遣業	急激な落ち込みもなく推移している。	
		求人広告	7月からやや求人募集の企業が増えてきているが、経営者に聞くと景気が上向いていると感じられる傾向ではないとの事。	
		学校就業関係者	日常の生鮮食品をスーパーで買うだけなのですが、価格が安いと評判のスーパーで買っても、5千円に届く金額になってしまいます。これから旬の秋の果物が始まりましたが、高価だなという印象を受けます。	
	やや悪くなっている	家計	商店街代表者	仕事量が減り、同業者間の価格競争が激しくなっている。
			商店街代表者	今年の夏の猛暑で日中は日差しが強く、人が商店街を歩かなく、人の出が少ないので売上げも減少した。
スーパー			猛暑続きで、昼間の出歩きが少なくなっている。車の通行料も減っているように思う。	
レストラン			夏休みですが、家族連れの動きがあまりない。ボーナスも少なかったという話を耳にします。	
割烹料理店			人口が少なくなっているのか食事を外でする人達が少なくなっているのか。食堂でゆっくりしている人が少ないのでしょうか。	
タクシー運転手			売上げが伸びず、まして猛暑の影響が景気にあまり左右されない昼間のお客様も減少しているようだ。	
観光名所			来館者数の減少（8月で昨年比76%）等で売上も比例して減少。冷夏の予報より一転した、暑すぎた天候が原因か？	
ゴルフ場			大洗は涼しいと言われているが、近年にない猛暑のためか来場者数に伸びが見られない。	
理・美容店			春頃（3～5月）はちょっとお客様も私共も良かった話でしたが、いつまで続くやらと思いました。7・8月は忙しい時期ですが悪くなった。	
やや悪くなっている	企業	製造業（印刷・同関連業）	売上げがやや落ちているため。	
		情報通信業（情報サービス業）	予想以上に景況感が悪い。多くの企業から、市場の動きは停滞しており、価格もデフレ基調、また商談数が少ない中、同業者間の競争が激しさを増しており、期待する収益の確保は難しい状況であると聞く。一部の顧客については、先行きの不安から、予定した新規投資を先送りする動きが出ている。	
		サービス業（広告業）	同業他社含めて、広告業界の売上の減少は尋常ではない。昨年同月2～3割の売上減は珍しくなく、夏の商戦での広告宣伝も、少なかった。	
		サービス業（コンサルタント業）	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3ヶ月前より悪くなった店舗が多い。猛暑の影響で飲料の販売が増えた飲食店もあったが、全体的に日中の客足が伸びず、衣料品については単価の高い秋物が売れず苦戦している。	
悪くなっている	家計	求人開拓員	国や県の雇用対策・経済対策により景気が良くなりつつありました。しかし8月末から円高ドル安になり、先行き不透明です。求人関係では、非正規雇用（パート及びアルバイト）の求人募集が多い。	
		コンビニエンスストア	買い上げ点数が上がらない。必要なものしか買わない。	
		タクシー運転手	夜間の人の動きが減少している。	
	企業	ドライブイン	この時期は年間を通して一番お客様が立ち寄りの少ない厳しい時です。見る物（花）のない時。	
		農業関係者	猛暑による異常気象により、葉野菜および花き類に大きな影響があり、平年より出荷量が激減している。	
		製造業（食料品）	前年と比し、低下している。	
		製造業（食料品）	猛暑は消費を減退させている。	
		製造業（印刷・同関連業）	受注が減少している為。	
	製造業（窯業・土石製品）	受注が激減している。		

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	行楽シーズン明けで毎年客数が減少する時期であるが、晴天と猛暑の影響で目的での来店客が増加し、朝・昼・夜ともに売上が伸長している。
		家電販売店	猛暑の影響で、白物家電（エアコン、洗濯機、冷蔵庫）の伸びが著しい状態の為。
		洋食食堂	前年同月比が3ヶ月間＋（プラス）になっている。
		理・美容店	今年の夏は暑かった為、少しでも涼しくなろうと髪の毛を短くする人が多かった。
		住宅販売会社	来店数の伸びがみられる。直接の受注に結び付いている訳ではないが、回復基調にあるのではないかと。
	雇用	公共職業安定所	以下の有効求人倍率の通り 22/5 本年：0.44 前年：0.42 22/6 本年：0.45 前年：0.40 22/7 本年：0.45 前年：0.38
変わらない	家計	商店街代表者	産業のグローバル化という美名の基に、日本は空洞化減少が一層過剰に反応し、雇用の低迷と消費状況の悪化が慢性的に定着している為、国内・地方産業の具体的な政策の改革が実施の段階に未だに入っていない。
		商店街代表者	店舗の閉店により商店街としての業種構成が揃わず、買い物の魅力が低下しており各店とも厳しい経営状況には変わらない。
		商店街代表者	特に変化は感じない。
		スーパー	客数は前年同月と変わらず。青果相場上昇分、単価は上がったが、販売数減。少量パックや、小分けの販売を好む傾向あり。特にすいかなどの果実は適量販売を求められている。
		スーパー	・日替わり商品の安い物に集中している。 ・目玉商品だけを買う。
		コンビニエンスストア	鹿嶋コンビナートの定期修理が終了した7月頃から雇用が減っており、公共事業やそれに類する仕事も少なくなっていると聞いている。CVSについては、天候・気温の後押しがあり、売上・客数共に好調が続いているが、あくまで天気のおかげで景気によるものとは考えていません。
		自動車販売店	相変わらず、仕事先がない。人がそのままの状態である。
		小売業（菓子販売店）	対前年比（売上げ）で6月も現在（9月）も変わらないから。
		小売業（酒類）	お1人様あたりの買い上げ金額、点数に変わらない。
		小売業（書店）	データの上での話、3ヶ月前前年比と今月前年比は変わらず。書籍・雑誌は良いのだがコミックの客数は低い推移。
		衣料品販売店	・当店におけるお客様の購入商品で、値下げ商品の割合が高い。 ・一客単価が、下がりはないが、上がってこない。
		観光型ホテル	予約数が増えていない。
		タクシー運転手	不景気が続いている。売上げも変わらない。
		ドライブイン	大きな景気回復や消費者の購買意欲の向上が感じられないため。
		弁当・惣菜店	地方では相変わらず景気は良くなっていると思わない。
	ゴルフ場	特に変化を感じない。	
	理・美容店	夏場のシーズンは高速道路の料金安も伴ってレジャー中心に支出が動くこともあり、売上の的には多少ダウンもあるが、客単価などから考えると変化は少ないと思います。	
	室内装飾業	営業努力にはある程度の限界があります。私のような仕事は新築、改築、などの物件がないと立ち行かない。	
	住宅販売会社	展示場への来場者数は増えていない。	
	企業	製造業（食料品）	猛暑の為、一部（水物）を除いて停滞。
製造業（印刷・同関連業）		良くなっていると思える事がない。	
製造業（化学工業）		中東やアジアのプラント新増設による海外市況の軟化、それに伴う安値海外品の国内市場への流入等、非常に厳しい環境におかれている。	
製造業（化学工業）		アジア向け輸出に支えられて出荷量は維持している。価格も上昇気味で、円高の影響はあるものの大きな手取り減とはなっていない。	
製造業（鉄鋼業）		生産は高水準で推移している。	

	運輸業（道路貨物運送業）	物量・動き・保管在庫と比較して同じである。顧客の引合いも同じ位である。	
	金融業	中小企業の資金繰りは比較的落ち着いたように見受けられるが、個人や零細企業などの資金繰りについては、依然として厳しい状況にある。	
	不動産業	弊社では、昨年より高速バスに乗る方の為のコインパーキングをオープンしました。一年が過ぎ、今年8月の売り上げは好調でした。東京方面に出かける方が多くいた事が分かります。出かける意欲があるという事は、多少なりともお金を使うという良い影響だと思えます。	
雇用	民間職業紹介業	当地域の求人状況は増加傾向にはなっておらず、求職者にとっても大変厳しいものがあります。	
	学校就職関係者	求人受付が6月末から始まっているが、職種によりばらつきはあるものの、昨年同時期と比較すると求人数が50%増加している。しかし、離職者対象の講座では、IT系の9月開始で約2倍の応募があった。	
やや悪くなっている	家計	農産物直売所	当店は年齢層が高い為、猛暑の影響でお客様が来店を控えたように思われます。
		小売業（金物店）	<ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の減少 ・見積り単価の下落 ・業者の仕事割合の減少 ・単価の大きい品物が売れない ・利益の幅がない このような理由からです。
		割烹料理店	時期的に宴会が少ないのはあるが、飲食代を経費で（領収書を書いて）落とせるお客さんは来るが、個人の支払いのお客さんは少なくなった。
		日本料理店	接待がかなり少なくなり、予算を決めて行うグループが多くなった。お盆を過ぎてからが特に悪い。
		パチンコ店	商圈のお客様の数が少なくなっている為。
		クリーニング店	ハローワークへ行っても仕事がないそうです。無職の方がこの辺でも多くなってきた。職についている方も、会社から明日は休んでくれと言われる。農家の方も好天が続いたため水不足で野菜の収穫量が少ない。又、中国人を雇用している農家の方も時給が上がったので、頼めなくなってきたようです。
企業	企業	製造業（食料品製造）	10月より干芋の販売に入ります。現在は資材の調達です。資材の単価の面で値下げをお願いしていますが応じてくれません。どこの会社に行っても同じ事を言われていると営業の人が言っていました。今年は9・10月まで気温が高いとのこと。11・12月寒くなるよう祈るだけ。
		建設業	私は建設業関係なので景気が悪いので着工棟数が少ないです。特に鹿行地方
		保険業	兼業農家の多い地区ですので、米価が安いコシヒカリで1俵が60kg 11,500円。21年より1,500円安い。
		サービス業	リーマンショック後ようやく工業生産が回復してきたが、年度明けの円高の影響からか、やや減速した感じである。
雇用	雇用	人材派遣業	コンビナート各社の生産状況は確実に増産傾向になっていると思われるが、派遣要請が下降気味である。これは企業の労務費に対する危機意識と一方で円高・株安など不安要素も多く各社の派遣要請に連動するところまでにはないと思われる。
		求人開拓員	9月現在、7月後半からの猛暑の影響のせいか特定の業種のみからの臨時募集求人はあったものの、全体的には景気の落ち込み傾向が窺える情勢と思われる。
悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	地元・大手企業は長引く円高の影響で業績が落ち込み、社員の所得に影響が出ている。それに伴う関連企業も同じである。それに伴い財布の紐はかたくなり、消費者の買い物は、必要なものを必要なだけ最小単位で購入している。
		観光型ホテル	当館を利用いただいたお客様の直接の声より判断。予約状況や消費単価等の悪化。より良い商品の提供よりも、中身よりも、金額だけのお客様は選択している。
		タクシー運転手	仕事が1日、2時間に1回ぐらいの仕事。朝7時から夜7時までで給料手取り10万円ぐらい。
		タクシー運転手	お客が少なくなった。チケットの客が少ない。売り上げが3分の1である。
企業	企業	農業関係者	イネは豊作となったが、買い取り単価は安くなる見込みであり、いわゆる「豊作貧乏」になる。国の政策は減反補償となる作物を小麦や大豆等に限定しており、対応できる農家は少ない。7月以降の少雨のため、葉物類、露地野菜が大きな打撃を受けてしまった。高温が続き、「アールスメロン」も非常に生育状況が悪い。実の中の種子が発芽してしまっている。
		製造業（食料品）	異常な猛暑続き、朝・晩の客数はあまり例年と変わりはありませんが、やはり日中の暑さは厳しく客数にも影響が出ている。夏場はイベントが多く行われるが、売上にもやはり影響は出て15～20%程度の減少は現れている。どうにもならない猛暑ですが、景気対策は何とかしてもらいたい。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	入店は3か月前よりも20%増。売上は前年60%増。猛暑によるエアコンの台数が前年400%。
	企業	建設業	メイン取引先の会社全体的に動きが勢いづいて来ているように見える。大きな予算取りの引合いが連日FAXが届いたり、担当者より呼び出されている。小規模の件名(物件)から、中規模へと徐々に増えつつあります。
やや良くなっている	家計	スーパー	例年と比較し真夏日が続いた影響もあり、飲料、果物の消費が伸び、全体的に良かったので、やや良くなっていると言える。
		スーパー	一品単価、客単価が3ヶ月前に比べ上昇しており、売上も前年比を上回るようになった。
		スーパー	客数が前年同月より増加してきている。
		スーパー	猛暑の影響で、飲料・アイス・ビール等の伸びが良かった。
		コンビニエンスストア	天候要件もあり、売上前年比は3ヶ月前と比較し伸長している。
		都市型ホテル	今年の夏は特に猛暑で、ビアガーデンの売上も近年で一番の売上であったことから、やや良くなっていると思われる。
		ゲームセンター	まだ前年割れが続いているものの、少しずつ減少幅が改善されてきているため。
	住宅販売会社	建築意欲や土地の動きをみても、景気の悪化も底をつき、ようやく回復しつつあると思われる。	
	企業	製造業(非鉄金属)	受注量は横ばいであるが、対前年130%の実績、且つ08年同月比でも120%の高水準の受注量である。
		建設業	外構工事等、民間の工事の注文が出てきた。友人たちでも仕事が出てきて忙しいと言っている人がいる。
雇用	人材派遣業	新規営業に関してオーダー数が増えてきた為。	
変わらない	家計	商店街代表者	今年は例年になく厳しい猛暑で日中街の中を歩く人も少なく、消費動向を見ても必要な商品以外、夏物商品も購買意欲も盛り上がらない。
		スーパー	大幅な値下げで売上、客数は回復してきているが、利益最悪。
		コンビニエンスストア	景気に関する会話は減ったように思えますが、エコカー減税が終わることや、タバコの値上げがあるなど、先行きが良くないような話がまだ多いです。
		ガソリンスタンド	政権もどうなるのか全く分からない状態であります。その中で一生懸命はやっているがガソリンの価格が上がらない。日本平均が135円、茨城平均が131円となっているが、特に茨城県県南地区が悪く124円となっている。
		和食食堂	3ヶ月前と前年比が変わらないため。
		洋食食堂	ランチタイムはほぼ変わらないが夜の売り上げが低迷したままである。
		旅行代理店	間際になっての動きを期待したいところだが、現状大きな動きがみられない。円高の影響も動機に結びつききれない感じである。
		タクシー運転手	当社内でもまわりの商売も、特に変わりはない。
		タクシー運転手	会社関係の業績が悪いのか、ほとんどタクシー利用が変わらない。
		タクシー運転手	猛暑で需要は僅かに増えたが近場が多い。
		タクシー運転手	相変わらず業績が低調状態である。
		ゴルフ場	お客様との会話で、これより(現在より)悪い景気にはならない。ただし、浮揚感も感じられない。
		レジャー施設	土浦市内への来客、東口へのお客様の増加がなければ観光は成り立ちません。
		理・美容店	景気対策への不安が依然続いていて、円高でのデフレなどで会社勤めの方の生活は、未だ余裕は作れないようである。贅沢はしないという考え方に変わりはない。
	建築設計事務所	3ヶ月前に比べて、変化がない。	
	企業	農業関係者	暑い日が続き、農産物の価格もある程度上昇したが、生産量が少なく手取りとしては昨年より下がっている。円高の関係もあり燃油関係の価格の変動も少なく、農業資材としても、また生活物資としても影響が少なかった。
		製造業(家具・装備品)	6月決算で微量ですが売上増でしたが、相対的には前年度と平行線に近い数字でした。
製造業(食料品)		つくば駅・研究学園駅周辺は活気ある様に見えるが、大型店員の話だと売上が少ないようである。当店も変わらない。	
製造業(飲料)		猛暑の割には製造量は増えていない。	
製造業(印刷業)		来客数が伸びない。	
製造業(一般機械器具)		期間社員・契約社員に対する休業措置を引き続き行っているため。	
建設業(設備工事業)	材料に動きが出て来ている。		

	運輸業（倉庫業）	入出庫ともに、前年とほぼ変わらない状態が続いている。在庫が増加した荷主もあるが、出荷場所が変更になったのみで景気が良くなっているとは思えない。生産調整もあり、消費者の動向により少し変わるのではないかとと思われる。	
	不動産業	県南部10店舗を総合してみても変わらず、内部的には賃貸がやや厳しく、売買は好調。TXも、横ばい状況からやや弱含み。	
	雇用	求人広告 あまり売上げ数字にあらわれていない為。 公共職業安定所 求人数は前年同期を上回っているものの、正規雇用の割合が低くなっている。 求人開拓員 やや求人募集が増えた（広告関係）。ハローワーク関係はやや減少した。平均すると変わらない。	
やや悪くなっている	家計	農産物直売所 品薄、マンネリ、店の前の道路工事の為。 専門スーパー 以前は、お客様の来店客数が昨年を上回っていたが、今月は来店客数が減少し昨年を下回っている。猛暑、円高、株安の影響もあると思うが、全体的に低調になってきている。 洋食食堂 常連の御夫婦が全然来店されず、8月末に4ヶ月ぶりに来店してくれました。都内の印刷会社の社長さんです。1日会社に電話の注文がなしで、ディナーは高いのでランチしか食べれないと言ってました。私も都内有名デパートに創業祭ということで買い物に出かけましたが、ブランド売場はまったくお客様がいませんでした。2点で5000円の売場に集客がいました。 寿司店 暑さ（酷暑）のせいでしょうか、お客様の来店数が下がっている。生ものが敬遠されているのかな。 都市型ホテル お客様1人の利用単価がほとんど変化がない状況である。宿泊においては夏のシーズンであったにもかかわらず3ヶ月前に比べるとやや減少した。 タクシー運転手 つくば駅のお客様の利用が3ヶ月前より1日3000～4000円の落ち込みで、夜は自家用車の迎えの車が目立つ。 タクシー運転手 収入に見合った生活、仕事量に見合った体制作り、話題も総じて縮小均衡で終始する。以前よりも厳しい現況の様に感じる。 ゴルフ場 この異常ともいえる猛暑は、集客及びコースコンディションに悪い影響を与えている。連日35℃近く、雨もここ2ヶ月間全く降っていない。 パチンコ店 遊技するお客様は低貸玉、1円パチンコは横ばい、その他はサッパリ（4パチ、20円スロット等）。又、外出先や外食先等でも、お客様の数がどこも少ない。	
	企業	製造業（食料品） 人の流れが無く、来客数が減っている。 製造業（窯業・土石製品） 円高が定着している。 製造業（窯業・土石製品） 夏場に出荷量は毎年落ちるが、今年は特に落ち込みが大きい。異常な暑さのせいもあると思う。日中は通りに人がまばらである。 金融業 普段の業務を通じて、取引先の資金繰りが、数ヶ月前と比較して悪化している先が増加している。	
	雇用	学校就職関係者 離転職者の応募者数が3ヶ月前に比べ若干増えている。科の人気によって差があるが、20人の定員に、少ない科で25人、多い科では100人近くの応募者があった。	
	悪くなっている	家計	理・美容店 お客様の足が遠のいている。
		企業	建設業（設備工事業） 仕事が非常に少なくなっている。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	家電販売店	昨年とは違う猛暑により、季節（エアコン）の動きが良い。テレビ・エアコン・冷蔵庫等のエコポイント延長により売上好調に推移。	
		ビジネスホテル	一部の製造業であるが、設備投資あるいはメンテナンスなどの動きが見られた。業種的には限られており短期的なものが多いが、従前より。	
		ゴルフ場	順調に予約が推移していたが、結果としては例年並の収入、入場者。天候を理由としたくはないが、今年の猛暑は異常であり、入場者への影響（キャンセル増）となった。	
		理・美容店	私の店では売上が右肩上がりになっていて、少しずつ回復しているのかなと思う。9月は私ども業界は少し落ち込むのが普通だった。9月になっても客足はよい。	
	企業	製造業（金属製品）	最悪の時期は脱した感がありますが、先々の不安感は大い。引合件数は増えつつあると思いますが、低コスト・短納期化は進んでいる。	
		金融業	業種別にバラツキはあるものの、受注等の回復がやや見られる。又、若干ながらも設備投資への意欲も見えはじめ、景況感は緩やかながらも回復傾向にあるものと感じ取れる。	
	雇用	公共職業安定所	一部の親企業でリーマンショック前までの数字に戻っている。下請企業までは至っていない。	
		学校就職関係者	企業からの求人が増えてきていると感じる。そのため、景気はやや良くなっていると感じる。	
		就職相談員	求人件数・人員共に、製造業・製造工（但し、正社員以外）で増えている。求職者では、事業主の都合による離職は少なくなった。（ほとんどない）	
	変わらない	家計	スーパー	客単価は3ヶ月連続で減少している。お客様の買い物指向はディスカウント商材が中心で変わっていない。
			スーパー	客単価の下落傾向が同様である。
			コンビニエンスストア	猛暑の影響で冷たい物を求めて客数が伸び売上は上がっているものの、お客様の衝動買いが増えるでもなく、単価の高いものが売れるようになってきている感じは受けない。昨年の冷夏時の売上に比べれば伸びているものの、一昨年の売上には届いていないお店が多いのも現状。
			自動車販売店	必要なものは購入するが、それ以外のものは控えている現状が続いていると思われるので。
農産物直売所			来店者については増加しているが、客単価に変動がないうえに、売価が少し上がると商品の動きが悪くなるというように非常に売価に敏感である。	
ガソリンスタンド			3ヶ月前と比較して、良くも悪くもなっていない気がする。	
和食食堂			売上げ、来客数とも横ばい状態。	
鱈屋			お客様の一回の食事に使う金額が変わらない。	
和食レストラン、割烹			客単価もさほど変わらず。	
旅行代理店			特に良い話も悪い話も聞かない。	
タクシー運転手			お客様の動向としては、あまり変化が無いと思う。	
ドライブイン			悪化したままの状況が変わらぬまま。	
ゲームセンター			季節的要因を除くと景気を左右するものが見当たらない。	
レジャー施設			景気回復の兆しが見られない不安から消費控えが続いているように思える。	
理・美容店			お客様の来店サイクルが伸びてきて、それが固定しつつあるので、ここ1年近くは、毎月お客様の来店人数が変わらない。	
住宅販売会社			前回調査時と比較して、良くも悪くもなっていないというのが現状。	
企業	農業関係者	6月からの高温と干ばつにより、米や青果物の収量が減っているので変わっていない。		
	農業関係者	米の収穫時期となりましたが、収穫量は前年より60kg減少。販売価格は1,000円～1,500円安で取引、各生産者はボヤキを店頭に来所して話します。残暑もかなり厳しい。		
	製造業（食料品）	出荷量ベースでは昨年とほぼ横ばいとなっている。季節的影響を除くと大きな変化は感じられない。		
	製造業（食料品）	毎日の変動はあるものの、月単位で受注状況を見ると季節的商品を除けば、ほとんど変動していない為。		
	製造業（印刷・同関連業）	デフレスパイラルの回転が止まらない。次々と商店・工場が閉店・撤退し、寂れてきている。		
	製造業（窯業・土石製品）	20年前ならば、今の時期は忙しく仕事の注文がありすぎて、お客様から「納期に間に合わせてほしい」との電話が多くて、電話に出るのが苦痛でしたが現在は全く正反対で、お客様へ毎日「何か仕事ありませんか、注文をお願いします」との電話を掛け続けている日々です。		

	製造業（一般機械器具）	同業者は（親子3人でやっている）1人分くらいしか仕事がないので、仕事をくださいとのこと。自社は3ヶ月前と同じ。
	製造業（電気機械器具）	作業量に伴う増員を行ったが、現時点では増員のまま推移している。
やや悪くなっている	家計	
	商店街代表者	今年12月には県会議員の選挙がある。選挙のある時は、商店はとても悪いです。
	商店街代表者	①猛暑のせい客数が減った。 ②財布の紐がかたい。客単価が下がった。 上記の点で売上が減った。
	コンビニエンスストア	残業食の注文を受けているお店がありますが、注文数が減っていますので（ダンボール系）、やや悪くなっていると思います。
	和食食堂	暑さが長引き野菜等の品不足で値上がりし、単価的に利益率が減少しているため。
	都市型ホテル	9月になってからお客様の数が減ってきている。昨年と同じ時期の売上と比べても減少している。
	タクシー運転手	今年の異常な暑さのせいで、外出を控える人が多い様で日中の客待ち時間が以前より長くなっている。夜になっても、遅い時間にならないと仕事が少ない。
	ドライブイン	来店客数は夏休み等の季節要因を考慮してもやや増加しているが、客単価をみると低下しており景気はやや悪化していると感じる。
	ゴルフ場	予約状況にて
企業	製造業（印刷・同関連業）	円高の影響で、大型スーパー等は輸入品関係を安くし還元セールが出来るが、零細企業は悪影響しかないのでは。政府・日銀が為替市場に円安になるよう介入しないと株価も上がらない。投機筋の思うがままだ。資源の少ない日本は自動車・工作機械をはじめ、輸出に頼らざるを得ないのだから、もっと政府も日銀もしっかりやってもらいたい。
	製造業（化学工業）	半導体関連に在庫調整の動きが出てきている。特定のヒット商品（EX、i-Pad）に関連した受注は好調であるが、全体としてパソコン、従来型携帯電話、液晶等の関連の動きが鈍化している。
	製造業（窯業・土石製品）	我々の仕事は春から秋にかけて最盛期を迎えるのが普通でしたが、本年はその様子さえ見受けられない。
	建設業	政治が空白な気がします。自分たちの政権獲得ばかりな気がします。 （円高、雇用、景気回復に言葉だけ）
	不動産業	来客者数が減っている。希望する賃貸物件も極端に安価な物件を探している人が増えている。
	サービス業（コンサルタント業）	運輸・建設・飲食等業種では対前年比で10～50%の減収になっている、しかも前年同期はその前年と比べると20%前後の減収になっている、そのように相当悪化している。
雇用	求人広告	売上げが下がっている。
悪くなっている	家計	
	タクシー運転手	景気があまりにも悪い。
	タクシー運転手	我が地域ではデマンドタクシーが始まり、行政が民間の中に入り込み、タクシー会社の首を絞めつけている。
	クリーニング店	今年の夏の猛暑で景気が良くなっているのは、ごく一部と思われます。全体としては外出するのを避ける傾向に思われます。

Ⅲ 景気判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	観光型ホテル	こちらも時期的な要因がかなり影響し、忘年会シーズンとなる為。また、季節的に温泉などが恋しい時季の為。
	企業	水産業関係者	豊漁の状態はこのまま続くと思われ、茨城全体の水産業界は良い結果が継続すると思われ。
やや良	家計	商店街代表者	病院周辺の環境整備&駅前再開発事業の本格化等で上向きになって欲しい、という希望的観測。
	家計	タクシー運転手	火力発電所の2期工事も始まり、少しは良くなると思う。
変わらない	企業	林業関係者	組合系統の新原木市場及び乾燥施設が整備されますので全体的に期待したい。
	家計	スーパー	希望をこめて。これ以上悪くなったら商売が成り立たない。
		コンビニエンスストア	政局が不安定であり、将来不安が払拭される訳ではないので、現状と変化は無いと思われる。タバコの値上げも10月から実施される為、消費は引き続き慎重になると思う。
		衣料品販売店	現在は底を打っていると思います。3ヶ月先に良くなる要素は見当たらない。
		金物・荒物・建築資材	先の受注や見積りが少ない。
		小売業（燃料）	プラスもマイナスも大きな変化の要因ないと思う。
		小売業（酒類）	近隣企業、仕事量増加の様子が見えない。所得増も望めないとの話が多い。
		小売業（靴製品）	良くなる要素、悪くなる要素が見当たらない。
		レストラン	たぶんお客様の話から。
		スナック	寒いのと、お金を使う機会が増えたり、家や車の支払いが大変になると思うから。
		和食食堂	土・日祭日の家族連れの客が減って来ている。お客様の単価が減少傾向にあり利益が望めない。
		タクシー運転手	良くなるとは思えないが、悪くなるとも思わない。
		タクシー運転手	上下に変動する要素が見当たらないため（地元企業の特に変わった動きがないため）。
		ドライブイン	消費者の客単価も現状低い、改善要素が見当たらない。
		ゴルフ場	円高や株安をもとに、ますますデフレが加速し現在限界に近い価格競争がより激しさを増している。
	ボウリング場	見込みがない。	
	ゴルフ場	今後3ヶ月の予約状況は前年同日比で若干のマイナス。景気好転は期待出来ない現状、一層の企業努力が求められそう。	
	住宅販売会社	民主党が揺らいでいる中、上向き要素が見られない	
	企業	製造業（製缶）	取引先の新規受注がない。（取引先の受注品の作業がH23.1~3月にある予定だが、売上となるのはH23.3月である）
		製造業（一般機械器具）	景気概況や報道では上向きである旨、いわれているが、新規着工（ビル他）など建設業については不透明であるため。
製造業（電気機械器具）		3ヶ月先の景気は全然分からない。良い材料がない。	
製造業（電気機械器具）		今後も国内需要が低調を続ける見通しである。	
情報通信業（情報サービス業）		良くなる要因が見当たらない。	
雇用	求人広告	各企業の人事担当者に会っても、今後の見通しは厳しいと判断している様子。	
	公共職業安定所	主要産業の製造業（中でも電気機械器具及び輸送用機械器具製造業）は、対前年同月比115.8%の増となったが、全体では一般とパートの割合でみると、6対4の割合で、対前年同月とほぼ同等の割合であった。生産の回復が雇用情勢の改善を牽引していると考えられるが、本格的な回復には暫く時間を要すると思われる。	
	学校就業関係者	大手の企業は少しずつ回復をしているが、中小企業は依然厳しい状況が続いているとのことと、聞きました。	
	求人開拓員	経営者との話題の中に、景気回復の話が出てこない。まだまだ中小企業にまでは、上昇の風はふいてこないようだ。	
家計	スーパー	景気対策がない。	
	スーパー	食費については削減される傾向。弁当の価格も398円→298円の品が多くなっている。新商品の季節になるが、ヒットが生まれることを望む。外食でもコーヒーのおかわり自由より1杯分を下げたのと要望有。パーティー用などのオードブル単価10%減。	
	小売業（工具）	円高、株安が進行し、短期間定着すると思われるため輸出関連は今後3ヶ月は悪くなると思われる。	
	自動車販売店	質問2と同じ理由で、国の政策や補助金など付加価値がなくなり、購買意欲が低くなると思われる。	
	小売業（水産物）	質問2で答えたように、日本の景気が良くならない限りはどんどん悪くなっていくような気がする。	
	居酒屋	平均単価が少ない。	
	観光型ホテル	宿泊予約はほぼ横ばいで推移しているが、日帰り予約が前年より減少しており、景気はやや悪くなると思われる。	

やや悪くなっている	タクシー運転手	円高の影響がどのように出てくるか。	
	レジャー施設	秋の団体の予約状況をみると、出足が鈍いことから判断した。	
	クリーニング店	景気の良い話はほとんどなく、当業界も減少傾向で良くなる材料がない	
	企業	製造業（精密機器）	円高。
		製造業（電気機械器具）	受注案件が不透明。
		製造業（電気機械器具）	好転の兆しを感じられない。
		製造業（電気機械器具）	製品の受注高、作業量が減少する見込であるため
		製造業（輸送用機械器具）	10月以降国内エコカー税制打ち止めに伴いトヨタ・ホンダ等減産計画のため作業量の減少は避けられず。又、円高（ドル及びユーロ安）によってカーメーカーの現地生産及び部品現調化が加速するものと想定され、景気の減速感が否めない。
		建設業	官民とも発注量は減少しているので、悪くなる方向だと思う。
		運輸業	新聞・テレビでも報じているように円高の影響が心配されるので。
金融業	円高によって親企業の調達先が海外シフトしているなか、更なる円高の進行が続けば協力会社及び下請け業者に深刻なダメージが予想されるため。		
不動産業	円高が固定化される中、顧客の先行き不安より様子見が続くそう。また、エコポイントの拡大・継続運用など景気浮揚策が薄く期待薄。		
雇用	運輸附带サービス業	政権（民主）が変わり、この一年間希望を持ったが日本経済の改善に全く至っていない。今後はむしろ、雇用安定、社会福祉などの政策では期待は薄い。世界に向けた政策がないとダメ！！	
悪くなっている	家計	商店街代表者	地域内企業の円高による注文減少、単価の下落。
		コンビニエンスストア	10月からのタバコの増税により、来店客数の減少、またタバコとセットで購入される缶コーヒーなどの売上悪化も見込まれるため。喫煙者においては、9月にタバコの買い込みを行う反動で、10月以降は買い控えの心理も予想されます。
		ゴルフ場	1. 異常気象の影響を受ける。 2. 国の政治不安が解消されないので、レジャー費を使うことに慎重。 3. 円高・株安傾向により、企業人の土・日ゴルフが減少する。
企業	製造業（電気機械器具）	好転する要因が考えられず、楽観視出来る状態にない。引き続き経費抑制などの対応が必要である。	

(2) 県央地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	タクシー運転手	3ヵ月後は年末なのでタクシーの需要も増えるのではないかと思います。10月公開になる桜田門外の変に期待しています。	
		ゴルフ場	ゴルフシーズンに迎い10月からの予約に例年以上の申し込みがある。	
		建築設計事務所	公共工事の耐震補強業務や校舎の改築、改修工事の発注が見込まれ、忙しい感はあるが落札額が低価格傾向のため、依然厳しい状況が続くものと思われる。	
	企業	製造業(金属製品)	業界の予想よりは需要の回復が遅れているが、徐々に回復しつつあるのは事実。ピーク時に戻るような事は決していないと思いますが、少しずつ少しずつ需給のバランスが良くなっていくのではないのでしょうか。	
製造業(一般機械器具)		質問2の関連(建設機械関連、医用関連、自動車の一部)で多少良くなるのでは!		
変わらない	家計	商店街代表者	景気が良くなる要素がまったくない。	
		百貨店, 総合スーパー	客数は前年同等、もしくは若干上回って推移しているが、客単価は減少傾向が続いており、増加にはまだ時間が掛かると見られる為。	
		百貨店, 総合スーパー	このところの給与・賞与のマイナスによる影響で、ギフトを中心に単価ダウンの予想がされる。	
		スーパー	円高、政治の問題等、先行き不透明であり、プラス材料があまり見当たらない。	
		スーパー	民主党の代表が決まっても、景気対策が良くなるとは思えないので。	
		スーパー	特に景気に変化する要因がない。	
		家電販売店	エコポイントの終了でどの様になるかわからない。	
		農産物直売所	残暑による来場者減の心配はあるが、現在の客数・客単価が前年並みで推移している為。	
		専門スーパー	猛暑の為、余計な出費がかさんでおり、節約意識が高まるのでは? (電気代など、通常よりもかなり多くなっている。)	
		レストラン	今後の見通しとしては、前3ヶ月同様に来館者数は増加する見込みだが、低価格商品に流れる可能性が高いと予測される。	
		レストラン	現状の景気が悪く、変わらないと思う。ただ、ランチタイムの中高年の女性は変わらず利用している。	
		レストラン	12月頃の予約状況から見て、昨年の予約状況を考えるとあまり変わらないと感じます。	
		割烹料理店	今までと同じようではないでしょうか? 政治が変わっても同じだと思います。	
		都市型ホテル	年末ということで活発な動きはあると思われるが、単価減少傾向は続くと思われるので変化はない。	
		都市型ホテル	3ヶ月先までの予約状況でも、対前年を下回っており今後の伸びも期待は持てない。	
		観光型ホテル	年末前後は法人需要が多くなるので、企業収益は上向いているといえども、我々の業種に影響が出るのは、もう少し時間がかかると思う。	
		タクシー運転手	景気回復が望めない為(具体的に対策が見えてこない)。	
		ドライブイン	現在の状況から判断して、良くなる要素が見当たらない。新しい対応・対策を行っても効果が出ない。	
		観光名所	予約状況は例年日次で推移。特に景気の良くなる要因は見当たらない。	
		ボウリング場	毎年一番暑い時期(9~11月)にあたるので良くなるとは思えないが、ダウン率改善の方向にあるので、良く見て現状維持と思う。	
		カラオケ店	今後3ヶ月ではまだ変化が考えにくい。	
		レジャー施設	利用廃止の申し出も特にないため。	
		レジャー施設	割引券の利用が増加してきているので、レジャーは安価に安価にという傾向にあると思われる。	
		住宅販売会社	現状程度の購買意欲がそのまま続いていると思われる。	
		企業	製造業(食料品)	依然として前年割れの状況が続くものと考えられる。
			塗装業	個人的発注、住宅が少ないと思う。
運輸業(道路貨物運送業)	エコカー補助金の終了に伴い、関連する原材料の動きにマイナスの影響が出てくると考えられる。			
金融業	12月は冬季ボーナス支給の時期であり、金融機関への預入れが一時的に増加する傾向にあるが、給与所得の水準が今後大きく変化する事は考えにくい。また年末の海外旅行等での費用の用立ても一部の消費者に限られており、巣籠もり傾向は続くと思われることから、景気は横ばいであると判断する。			
不動産業	季節的なものもあり、来客数は減少すると思うが、例年この時期は同じ。			
サービス業(広告業)	年末に向けて、唯一広告宣伝が活発化する時期ではあるが、それほど期待できる要素が見つからない。			

雇用	サービス業（コンサルタント業）	円高やエコカー減税終了など暗い話題が多く、今後も厳しい状況が続くと思われる。家計においては、必要でない物の購入を控えるなど今後も節約傾向が続くと思われる。
	求人広告	PR広告も少しずつ増えてきているが、集客をしないと厳しい状況のためであり、景気回復と言えないとの事。
	公共職業安定所	猛暑等の影響もあり、製造、流通、販売等の一部の業種で好調感があるが、中小企業の経営環境は依然として厳しく、短期的にみて大幅な改善は期待できず、雇用環境も一進一退を推移していくものと思われる。
家計	商店街代表者	円高の影響を受ける国内メーカーが多いと予想される。
	スーパー	円高、株安の現状では、12月（年末）に向けて厳しい商戦になると思う。
	自動車販売店	10月補助金終了になり、買い控えのお客が増えるのではないかと懸念材料である。
	旅行代理店	中国との関係悪化により、旅行の延期や中止の動きがある。
	タクシー運転手	売上げはやや落ちると思う。
	タクシー運転手	円高、株安など、企業業績が悪化したなどの話をよく聞く。
	理・美容店	夏がだめなので秋はもっと悪くなると思います。お客様のサイクルが長くなったようです（3ヶ月～4ヶ月位おく）。
企業	農業関係者	秋の収穫期を過ぎた段階で米の価格下落、秋の農産物の収量減などが予想され、農業所得の減少が危惧される。
	製造業（印刷・同関連業）	ここ3ヶ月の売上伸び率が悪い。
	製造業（精密機械器具）	OEM受注品の売上出荷先は海外が圧倒的に多いので、為替の状況次第では悪い影響は避けられないと思います。
	情報通信業（情報サービス業）	価格低迷と商談減少傾向は続いており、現状では景気回復の材料が見当たらない。市場も不透明感が強く、3ヶ月先の景気は、踊り場に止まっていると感じる。円高、株安問題を含めた景気悲観論が先行し、顧客も、引続き積極的な動きを差し控えるのではないかと。
雇用	人材派遣業	株安・円高の影響が出てくると思われる。
	学校就業関係者	給料が上がることはなく、むしろ減らされているから、実質的には節約意識を強く持つことになり、景気は良くならない。
家計	コンビニエンスストア	ニュース等でも流れているが、円高の継続等による企業収益の圧迫から、再度景気悪化が予想される為。
	コンビニエンスストア	エコポイントでお金を使うが、その他の消費が厳しくなる。
	専門スーパー	気温の高い日が続くと予想され、暑すぎて売るのが無い状況が続くと予想される為。
	ドライブイン	この状況が数ヶ月で変わるとは思わないので。
企業	製造業（食料品）	猛暑による消費の落ち込みが続き、不作農産物の影響もあり、物価・原材料共に値上がりし、景気は減速する。
	製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素が見当たらない為。
	製造業（窯業・土石製品）	新規の受注が減っている。
雇用	求人開拓員	昨年と比較して正規雇用に採用される方が少ない。・・・昨年比73%と大幅減。非正規雇用者が増加する傾向にある。雇用の不安定は、生活の不安定です。収入が少なければ、家計支出も少ない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	家計	農産物直売所	少しでも涼しくなってくれば、食欲が増してくれる事を期待します。秋の味覚も増えてきます。
		ゴルフ場	首相の続投が決まり、景氣的にも安定、改善されるのでは。
	雇用	求人開拓員	今夏の異常気象による一時的な景気落ち込みの影響も年末にかけて解消されるものと予測される為。
変わらない	家計	商店街代表者	商店街にある衣料品店が閉店。商店街に来店する客数は確実に減少するため、商店街全体に与える影響は大きい。
		商店街代表者	具体的に変わる感じがしない。
		スーパー	良くはならないと思う。現状を保つことが精一杯です。全ては景気対策次第だと思います。
		コンビニエンスストア	雇用の改善が進まない限りで、景気の回復はありえない。CVSは、工事関係の方が来店客の中心であり、お客様から話を聞く限りで現在との変化は聞こえてこない状況です。
		コンビニエンスストア	景気は多少良くなっていると思うが、身近な物の消費に対しては極力抑えようとする傾向は相変わらず続くと思われる。一方で新しい商品やサービスへのお客様の感度・関心は高まっている傾向の中で、以前に比べて客数が増加し、売上は横ばいとなると思う。
		家電販売店	お客様の購買意識は低いが、来年7月の地デジ移行に向けてTVは売れるので差し引き0になると思われます。
		小売業（菓子販売店）	特に変化があるとは思えない。ただ対前年比で売上げ増は見込めないと思う。銚田市内で買い物をする消費者は減少しつつある。新商品の発売で何とか売上げ減にならないようにする。もちろん売上げ増を目指すけれど。
		小売業（薬品店）	ここまでの円高になると、政府による何らかの介入が必要であると思われる。
		小売業（金物店）	今の政権では、期待できないと思う。なぜかと言うと、公共事業の縮小や円高および大手企業の設備投資の減少など、また国内においてはデフレスパイラルが進行して景気が低迷している。地域格差はますます広がりがつつあります。
		小売業（書店）	良くはならない。このままの状態でも客単価、客数等は推移していく。
		衣料品販売店	今年度、昨年売上に対しての落ち込みが続いているため。急な売上UPは現状から先、ないと思う。
		洋食食堂	いろいろの要素等で変化があり、先行きの不透明感がある。
		割烹料理店	時期的に忙しくはなると思うが、予算をきっちり決めた宴会の問い合わせが多く、追加料金はほとんどない。
		日本料理店	今月または来月以降で良くなる話を聞かないため。円高の影響が悪化すれば悪くなるのでは？
		タクシー運転手	民主党代表が変わっても、景気は変わらないと思う。
		ドライブイン	猛暑・少雨などの天候不順が続いているため、消費者動向が不透明であるため。
	弁当・惣菜店	この景気がもう少し続くと思う。	
	理・美容店	今の景気が良くならない限り、良くなっているとは思えない。	
	クリーニング店	新車購入時の補助金制度のような国の支援がないと、地方は活気づかないと思います。	
	住宅販売会社	円高や政権不安もあり、更に良くなっているとまでは思えない。	
住宅販売会社	特別な理由はないが、景気回復を期待できる具体的な事がない。		
企業	製造業（食料品）	・株安、円高が続くと気分的に落ち込む。 ・政治の安定性がどう変わるか不安要因。	
	製造業（化学工業）	製造プラントの撤退や固定費削減も続いており、回復は難しいと思われる。	
	製造業（鉄鋼業）	政府の景気対策に期待したい。	
	建設業	景気が上向いてくればいいのですが、当分見込めないようです。	
	金融業	企業間の格差に大きな隔たりがあり、特に零細企業に至っては、依然として資金繰りに余裕が見られないことから、改善には時間を要すると思われる。	
	保険業	鍋底を這っているような悪い景気が続く。	
雇用	不動産業	不動産業は2月、8月が客入りの悪いのが通例でしたが、お客様の世代交代もあるのでしょうか、お盆月という時期にもかかわらず、土・日は来店して下さるお客様がわりといらした。有難い事です。更に9月は移動月とも思いますので、頑張りたいと思います。	
	人材派遣業	派遣会社から見ると大きな変化は無いと思われる。	
	民間職業紹介業	製造業をはじめとした各業種企業の状況からすると、求人状況が簡単に好転するようなことはないように思う。	
	公共職業安定所	質問2の有効求人倍率の数値で推移するものと思われる。	
学校就職関係者	現段階では予想がつかない。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	消費者の買控えの傾向は以前より酷くなっていると全般的に思われます。工業製品にしても農産物に於いても、日本は量より質の良い物を創出する能力を十分に持っているのですが、現在は外国に一方的に巧みに利用され、国内向けに儲かる様にするべき心得が必要不可欠ではないでしょうか。お互いの極端な安売り競争は消費者も貧しくなります。
		スーパー	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のアルバイト、仕事の先が見つからない。 ・街の人口が減少気味である。 ・客単価、買上率も減少している。
		タクシー運転手	現状から見て、先行きは分からない（悪いと思う）。日本経済が不安定である。
		パチンコ店	景気回復の兆しが見えてこない為。
		理・美容店	美容業全体で見るとまだまだ新規出店が目立ちますので、ますます1店当たりの売上は低下しつつあると思います。
		室内装飾業	このまま日本経済が沈んだまま終わることはないと思うが、何か凄いき爆剤のような出来事が起こらない限り景気が上向くことは当分無いような気がする。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	良い話はあまり聞かないが、悪くなると思える話は円高等多々有る。
		製造業（化学工業）	円高の影響が、輸出のみならず、国内向けの数量・価格にも影響してくると思われる。また、エコカー減税終了もあり、今後の稼働への影響を懸念している。
		製造業（食料品製造）	12月は御歳暮の送付で忙しくなります。昨年（21年12月）も1件当たりの金額が低くなっていました。今年も、当然現状維持か、金額が低くなると思います。良くはならないと思います。
		運輸業（道路貨物運送業）	管政権が再び動き出すが、政策で経済動向が一変する様な手法が見当たらない。年末までじり貧になっていく事が考えられる。無駄を無くすことが第一である。
サービス業		円高・金融不安により輸出関連企業の低迷が予想されるため。	
悪くなっている	家計	自動車販売店	自分の仕事以外で他の場所なんかでも話を聞いていると、良くなるとは思えない。
		観光型ホテル	不安定な政治状況の為、景気回復には更に年数がかかる事であろう。
		タクシー運転手	仕事がない。
	企業	農業関係者	冬野菜の種蒔きをしたが、少雨、高温の影響により発芽に至らず、壊滅的状况にある。
		製造業（食料品）	安価な商品の販売が続いており、供給と需給バランスがかなり外れて利益効率が悪い現状が変わらなくては、物は売れない・効率が悪いでは、厳しさはまだまだ続くと思われる。政治的不安が続き、閉塞的な社会的雰囲気を経済の活性に大きな影響を与えていると思います。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	今後の見通しは、大変良いと思います。ただ取引先の経営者との懇談会では、今、1～3ヶ月、又6カ月の見通しが良いと判断しても円高、外国の状況から一転して悪化することも考えられるので、売上げが昨年の倍増にはなっているものの、従業員も毎月5人位採用しているが、あくまでも3ヶ月契約としている。変わらなければ、社員採用とする。
やや良	家計	スーパー	最近3ヶ月で客数も持ち直し、増加傾向が続いている。
		家電販売店	エコポイントの需要が続く見込み。
		ゴルフ場	政治的に曲がりなりに安定しそうで、お客様にも期待感を話す人が多い。予約も安定している。
		住宅販売会社	低金利がまだしばらく続きそうなので、建築を勧める上での条件が維持される。
企業	製造業（窯業・土石製品）	猛暑も幾分ではあるが和らいで、日中に出掛ける人も多くなるため消費は上回るのではないかと。	
変わらない	家計	商店街代表者	現在の円高がこの先どう動くかにより、中小の下請企業が年末に向けどう利益を出すかによりますが、賃金が働く人にプラスになり、財布が開くとは思えない。
		スーパー	一品単価がそれほど変化がなく、客単価も変化がないので、今後もそれほど変化がないと考えられるので変わらない。
		スーパー	一品単価が回復傾向にはあるが、野菜の高騰などによるものが大きく、それ以外特に良くなる要素はみつからない。
		スーパー	数字的に好調なカテゴリーは天候条件が大きく、残暑も終わると、また元に戻ってしまうと思える為。
		コンビニエンスストア	買上点数、単価は依然として厳しく、大幅な変化要因は考えづらい。
		農産物直売所	今のままでは変わらない。
		和食食堂	総理の政策によるものも大きいと思いますが、現状不安定なため良くなることも悪くなることも言えない。
		洋食食堂	一向に景気がよくなる要素が見当たらないうえ、こここのところ店で必要な物に値上がりする物が目立つ。
		洋食食堂	お客様はお金は使いたいと思っているのはわかります。ただ、良い品？たとえば少し有名なブランドでありあまり高くない物、それを少し安く買ったり、有名シェフのメインレストランではなくカフェの中の食事とか、気分はそれなりに高級になれる所、それで安く感じられる場所を選んでいきます。
		都市型ホテル	例年同様の忘年会の入り具合、打ち合わせも単価も昨年並みであり、変わらないと思われる。
	都市型ホテル	現在の予約状況を見ると、客単価のアップがなかなか見込めない状況である。	
	タクシー運転手	タクシーはまだ贅沢なものだと思われ、会社の経費なら乗るが、自分のお金では乗らずに迎えに来てもらっているみたいです。会社でも経費節減は交通費からのようで、バスに乗る方が増えたみたいです。	
	旅行代理店	旅行代金（単価）の大きなお客様の動きは早いですが、それ以外は検討している段階の感じがする。	
	タクシー運転手	国の長がガタガタしているようでは期待は何も持てない。	
	タクシー運転手	景気が良くなり限り、当分続くとする。	
	タクシー運転手	サラリーマンのタクシー利用が抑えられている気がする。	
	ゲームセンター	数ヶ月間、入客（お客様の来店数）が安定しているので、3ヶ月先も極端に悪くなっているとは考えにくい状況です。	
	理・美容店	政策での期待をしたいところだが、そう簡単に景気は変わらないであろう。	
	建築設計事務所	受注の見積りもない。	
	企業	製造業（食料品）	変わる要因が見当たらない。
製造業（食料品）		特に、景気回復の要素が無い。	
製造業（一般機械器具）		現在、特に景気の良くなる材料が見当たらないため。	
建設業		同業者で暇な人を常用で使っているが、3ヶ月先も同じように使っていると思う。個人の見積り依頼や発注は多くなってきたような気がするが、会社関係の見積り等がまだまだ。あっても値切り交渉が必ずついてくる。	
建設業（設備工事業）		見積り案件等が少なく、良くなるとは思えない。	
建設業（設備工事業）		小さい動きではあるが、仕事が出ている様です。	
運輸業（倉庫業）		円高により輸出を抑えている企業、在庫数が前年と比較して減少している企業、先行きは不安定である。	
金融業		取引先の業況を確認しても、改善の見込み薄く、しばらくは変わらないと思われます。	
雇用	人材派遣業	急激な増減は現状見込めないと思う。	
	公共職業安定所	質問2の状況が引き続くものと思われる。	
	学校就職関係者	3ヵ月後の景気について特に傾向は見られない。ただ、自動車関連の業者と話をするとエコカー補助金の駆け込みにより、10月以降の販売には苦慮しているようである。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	青果物、魚の高値続く予想なので、非常に心配。
		コンビニエンスストア	日々の生活にゆとりはあっていると思います。電化製品や自動車、食べ物など生活して行く上で必要な物は揃っている家庭が多い中で、売れる物がなくなっている。特に、円高ドル安の影響もあり、自動車産業は厳しくなる。
		専門スーパー	良くなっていく材料が見当たらない。冬のボーナスも厳しい状況になると思われるし、野菜等の食材も高騰が予想され、益々財布の紐が堅くなっていくようになるかもしれない。
		寿司店	利点が見当たらない。
		タクシー運転手	企業・個人を問わず経費の節約はより工夫をこらして、締まったままで緩められていない。先の見えない不安や厳しい現況がある以上、防衛は続くと思う。
		ゴルフ場	これから3ヶ月後はオンシーズンに入るが、予約の入り方が例年に比べて遅い。特に平日は料金設定を変えてみたが入りも鈍い。
		レジャー施設	観光客の来客数が少なくなる季節の為。
		理・美容店	すぐ良くなるとは思えない。
	企業	農業関係者	平成22年産の米価が戸別所得補償制度の関連もあり、昨年に比べ2000円以上の低い価格が設定され生産者に代金が支払われている。販売先の状況も来年年明け後の価格が読めない為、現在の価格を維持することが出来ないし、量も約束できない状況。農業所得が減ることは、これまでの代金支払いや借入金の返済等支払いを優先すると、消費が落ちると思われる。
		製造業（家具・装備品）	売上数は同じでも、単価が低くなっています。これからも続くと思います。
		製造業（飲料）	猛暑で農作物の高騰やエアコンの購入、エコカー助成がなくなり、買い控えがある。
		製造業（印刷業）	公共事業の減により、来客数は減ると思われる。
		製造業（非鉄金属）	主力メーカーの3ヶ月インフォメーション上では、受注量の増加率は小幅に留まり、一方ではコストダウン要請が、9月前倒しで強い要請を受けており、収益面は、減収減益を余儀なくされそうである。
	不動産業	じりじりと雰囲気的に悪くなっていく。円高・各種デフレ・株安等、不安材料が出てきた。	
雇用	求人広告	年末に向けて厳しくなってくると考える為。	
	求人開拓員	<ul style="list-style-type: none"> ・内職関係が中国へ行ってしまった（中小企業社長）多い ・国・県が子育て助成金にての対策で内職人員の確保が出来ない ・製造業にて、多数求人が減少した（円高） 	
悪くなっている	家計	ガソリンスタンド	自動車業界もそうであるが低燃費車、電気自動車等今から低燃費車が数多く現れてきているので、我々の勝負も後5年でだいたい決まる。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	民主党の代表が誰に決まるか分かりませんが、今の円高が急に改善されるとは思いません。また、エコカー減税も期限切れになり景気回復は望めないと思います。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	家電販売店	来年の3月までエコポイントが延長となり、当分の間、売上は好調に推移しそう。
		タクシー運転手	自動車関連、家電関連業界のエコポイントの駆け込み、及び猛暑による関連業界の特需により、年末の賞与が前年度より増額が見込めると思いますので、多少は期待が出来ると思う。
		ゴルフ場	現在の予約の状況から、順調に推移している為。
		住宅販売会社	建築意欲を高める施策（エコポイント、低金利、太陽光補助金等）が効いてくる頃だと思う。
企業	製造業（印刷・同関連業）	民主党の代表＝総理を選ぶ選挙も終わった。菅代表が再び選ばれたが、演説の中で「再び選ばれたら経済に力を入れ、一に雇用、二にも雇用、三にも雇用」と強調し、景気の建て直しを強く言われた。信用して良くなることを祈りたい。	
変わらない	家計	スーパー	世の中の動き・経済の流れが不透明で不安要素が多く、現状と変わらない。
		スーパー	原料相場の見通しでも、傾向は良くない。
		コンビニエンスストア	お客様も、今あるお金の中で生活する術を身に付けており、客単価の減少が改善されるとは思えない。基本的に社会全体の給与が増加に転じてこない、コンビニエンスストアといった全体で見た場合には景気の回復は難しいと思われる。現状、まだまだ職が無くコンビニに仕事を探しに来る人が多い状況からもまだまだ景気の改善は先になると思う。
		農産物直売所	現在の天候の影響で野菜等についても高騰しそうなので、いっそう価格に敏感になり、良くはならないと思う。
		ガソリンスタンド	お客様との会話でも、特に良くなるという話はない。
		和食食堂	良くなる要素も悪くなる要素も見当たらない。
		和食食堂	忘年会に期待しているが、今年は給料等の減額により来客数は毎年変わらないと思うが、客単価や利益率は多少減少すると思われるので景気は変わらないと思う。
		鰻屋	お客様（サラリーマン）の残業の時間が増えてないから。
		和食レストラン、割烹	冬のボーナスにもあまり期待できそうになく、お客様の来店回数、客単価もあまり変動を感じられない為。
		都市型ホテル	株の安値・円高が続いているので、お客様にも影響すると思う。
		ビジネスホテル	先行の動向については判断をする材料が少なく、景気の上向きを予測するに至らない。
		タクシー運転手	最近の円高で、企業業績が厳しくなると思われ、給与・ボーナスの伸びが抑えられると思われしますので、今後もこの傾向は変わらない。
		タクシー運転手	政治が良くならないので。
		ドライブイン	景気が回復する要素がないため消費が更に落ち込むと思う。
		ゲームセンター	景気に変化を与えるような事が全くない。
		レジャー施設	消費控えが予想される。
		理・美容店	客との話では、円高を早く是正できないかとの話題が多い。主婦同士ではさして生活に支障は出ていないようだ。
		理・美容店	これからもサイクルは大きく変わらないと思う。付加価値として行っているマッサージを目的に来る人もいるので、プラスマイナスゼロになっている。
		クリーニング店	世の中全体に良い傾向が見られない。やはり、ドコモも出来るだけ出費を抑えるのじゃないかな？
		企業	企業
農業関係者	野菜の作付け時期になっているが、雨がまったくない状態。台風により雨はあったが、毎日が暑い。定植しても朝夕の水かけと昨年と違う労働。収穫時期に期待はあるが先が読めないと各生産者が話していく（窓口での言葉）。		
製造業（食料品）	現状から考えると大きな変化はないのではないかとと思われる。		
製造業（印刷・同関連業）	政府の経済政策が財政再建＝デフレ政策と思われるので、大きくは変わらず、ジリジリと衰退するような感じがする。		
製造業（金属製品）	業種により期待感を持つ企業と不安感を持つ企業とがあり、総じて製造業では変わらないと判断する。		
運輸業（道路貨物運送業）	消費が伸びない。		
サービス業（コンサルタント業）	質問2で上述したように増収の気配は全く感じられない為。		
雇用	雇用	学校就職関係者	企業からの求人が増えてきたが、この調子で上昇していくような勢いは感じられない。そのため、変わらないと思う。
		就職相談員	雇用期間が決められている求人が多いため、先行きは不透明である。

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	顧客の来店数が毎シーズン少なくなっている。
		商店街代表者	良くなる要素が見当たらない。
		旅行代理店	明るい話をなかなか聞かないから。前年より今年の売上が少ない傾向にある。
		ドライブイン	円高の進行や株安の影響が徐々に始まってくると考えられ、財布の紐は益々堅くなり客単価の上昇は見込めないと思います。また、夏の異常な天候の影響が今後農作物に出てくることも懸念材料であります。
		ゴルフ場	お客様の予約状況にて
		建築設計事務所	良くなる様子が全くない。
	企業	製造業（食料品）	自社としては、ほぼ横這いを予想しているが、得意先等の動向を聞く中で、受注量が落ちて、人余りになりそうな話が耳に入ってくる。
		製造業（一般機械器具）	自動車関係はエコカーで仕事があったが、6月頃から仕事が減ってきた話。親会社は前期の実績は良くなっている話。お菓子関係は夏は良くないので保全の仕事も良くない。
		製造業（電気機械器具）	10月以降、受注量減に伴う人員体制見直しの相談が出てきた。
		建設業	公共事業の削減・円高と、3ヶ月先も回復は期待できない。総理が決まると期待するほかありません。
		金融業	円高・株安による影響により、政府9月の月例経済報告での景気の基調判断を下方修正する検討に入ったように、為替相場の先行き見通し及び政権の不安定さも相俟って、景気回復への期待が持てないため。
雇用	求人広告	年末に向けて、さらに厳しくなりそう。	
	公共職業安定所	政府の経済施策、自動車減税などが終わると同時に悪くなってくると思う。零細企業は継続が厳しいと思う。建設関係は公共事業に頼っているため、改善の見込みはたたない。（事業仕分けの影響が大きすぎである。）	
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	現在は自動車関連の工場の残業も多く、また派遣社員さんも来店されていますが、今の状態が続くのは11月まででそれ以降は仕事量が減少する見込みであることを話していただきましたので景気は悪くなると思います。
		自動車販売店	カーディーラーでは、購入補助金が9月で終了します。前倒し購入が相当数あり、その反動が10月より懸念されています。メーカー側では対前年50%だろうと予測しています。
		タクシー運転手	近所の飲食店がやめているケースが多くなっている。夜の仕事が極端に減っている。
	企業	製造業（化学工業）	顧客のフォーキャストからは先行きが不透明という話が出ており、現状より更に悪くなる見通し。輸出が主力の製品は円高で収益も悪化してきており、景気が良くなる見通しが無い。
		製造業（窯業・土石製品）	心細い次第ですが昨年同期より悪化の傾向にあるので本年も悪くなる恐れがある。
		製造業（窯業・土石製品）	現在が、本来一番注文が入る時期なのですが、夕方の6時以降電話が入りません。入っても、逆に売り込みの電話ばかりです。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	日本の輸出産業の海外移転、少子高齢化の進展。
	スーパー	今年の猛暑で年配の方の来店回数が減ったと思う！！
	コンビニエンスストア	・高速の¥1,000割引の効果が薄れ、人の動きの促進につながっていないように感じる。 ・デフレ傾向は続いているが、単に安い商品というだけでは売れていない。価値を見た値頃感が求められている。
	コンビニエンスストア	まだ猛暑は続いているものの、嗜好の変化は見られてきています。おでんセールを例年実施しておりますが、気温は平年より高いものの昨年以上の販売になっています。
	衣料品販売店	ここ半年、これといった動きは見当たらない。
	小売業（工具）	消費者は同時に生産者でもある。消費性向を上げるには生産者側の所得を上げなければならないが、例え売れ筋商品があっても、競争激しく薄利多売では利益の確保難しく、給与に反映されない。所得階層すべてが消費性向が上がらないと、景気回復は難しい。
	金物・荒物・建築資材	会社の借入金利が下りぎみである。
	小売業（燃料）	好天・猛暑がプラスに作用したが、デフレのトレンドは変わらないと思う。
	小売業（酒類）	安価で利用できる飲食店にはぎわっている。
	小売業（水産物）	安価な物を購入されるお客様が増えている。営業に来る業者が増えた（電話営業も含めて）。
	レストラン	国・県・市 活発な動きが見られません。国民の為に活発な協力があれば景気も良く見える様な気がしますが、行政が死んでいます。皆さんだって国民でしょう。
	スナック	新車（エコカーに関して）の販売台数が増えている様に思います。
	和食食堂	週に何度か来店していた客が来なくなり、売り上げが思う様に伸びない。
	観光型ホテル	すべてが安価の方に流れているように思う。
	観光型ホテル	毎回のことですが、ここ最近では予測がつかいません。
	観光型ホテル	エコカー減税の終了、タバコ増税など家計にはマイナス要因ばかり増えているとの声をよく聞きます。
	旅行代理店	日立市会場でサーフィン全国大会が開催されたが、大会参加者約1,000名の内、宿泊者が半分未満であった。費用圧縮のためか!?
	タクシー運転手	この3ヶ月も、前回3ヶ月の時と同様、地元企業の特に変わった動きは、自分の耳に入ってきません。その事から、この3ヶ月は変わらないものと思われま。最近、特にスナックからの注文が減った感じです。時々、スナックからの注文で行きますと、スナックの内のお客様がほとんどいなかったです。
	ゴルフ場	お客さまはとにかく安いものを求めています。
	ゴルフ場	1. 酷暑対策で「冷たいタオルサービス」好評。 2. 今後、料金、きめ細かいサービスが大切になる。
レジャー施設	良くなる要因が周りを見つかりません。	
クリーニング店	今年の夏の異常な暑さで主婦の方々が昼間外出しなくなり、夕方から夜涼しくなる時間に来客が集中するようになった。	
住宅販売会社	1年前と比較すると厳しい話はかなり減っているようだ	
企業	林業関係者	最近新築住宅地が見られない。
	水産業関係者	漁業者、水産加工業者とも、今まで長く不漁が続いた為か資金不足が目立ちます。融資を受けても返済する「力」がない。この為か協同組合への未払が増えたり、又、燃油等の未払がかさみ、漁家経営が苦しい状況でしたが、今回の豊漁で両者とも改善されると期待しております。
	製造業（精密機器）	材料屋さんが仕事が減っていると言っている。
	製造業（製缶）	同業者で、取引先の連休に合わせ休日になっている所もある。
	製造業（一般機械器具）	・商店での（小売店、スーパー）日用品・食料品の値下げが目立つ。 ・生鮮食品については、特に野菜の高値が目立つ。
	製造業（電気機械器具）	特別悪くなる様な動きも見られないが、良くなる兆しも見えてこない。引き続き不安定な状態が続いている。
	製造業（電気機械器具）	記録的な暑さで、飲食関連（メーカー、サービス業）は好況で羨ましい。当社のような設備投資関連業界は、底這い状態から抜け出せるきっかけがなく、厳しい状況である。
	製造業（電気機械器具）	現在は輸出案件があるものの、お客様からは海外生産を拠点にする考えが同業、先行き非常に不安である。
	運輸業	「質問2」でも答えましたが、常陸那珂港の貨物量が増えてきているように感じます。

	金融業	円高による地元企業の停滞ムードにより、街全体に自粛ムードが高まってきている。
	不動産業	リフォームに関しては、エコポイントもあり堅調に推移している。反面、戸建に関してはエコポイントは十分に活用されていない。
雇用	運輸付帯サービス業	ひたちなか市の飲食店で、老舗（30～40年）の料理店が2～3店やめるなど、町中の活気（夜）が悪くなっている。また、代行車などは呼べばすぐに来る傾向が強い。
	公共職業安定所	海外向け輸出の鈍化や、エコカー補助金終了に伴う輸送機械の生産調整などから、生産の減速が予想され、景気の持ち直しは続くものの伸び率は鈍化すると思われる。
	学校就業関係者	依然、厳しい状況が続いているみたいである。
	求人開拓員	失業者の求職活動に若干変化が出てきた。やはり景気回復が期待出来ないので、何でもよいから就職出来ればと思い始めてきたようだ。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大手企業は、事務用品などの消耗品の購入を本社での一括調達をすることで経費削減をすることが多くなり、地元の業者から購入しないケースが多くなった。
	百貨店、総合スーパー	最近猛暑の影響もあり、日傘や手袋などの紫外線をカットする商品が好調に推移している。
	百貨店、総合スーパー	高額商品を今まで買って、近年1年買い渋りを見せていたお客様が戻ってきている。しかし、フリーのお客様の単価は変化がなく厳しい。
	スーパー	仕入先はインフレ傾向。お客様はまだデフレ傾向継続で、ギャップあり。
	スーパー	出費を抑えている会話が多数。
	スーパー	暑さのせいで、カキ氷類（アカギのガリガリ君 etc）が売り切れになってしまっている。
	コンビニエンスストア	エアコン・車を買う方が多く、景気対策になっているように思えるが、それがなくなったら消費が落ちるでしょうか。
	農産物直売所	気温が高い為、すいか・桃等、平年より高い価格の果物でも動きが良い。
	専門スーパー	最近、宝くじの購入が減っている。
	レストラン	周りの方々の話でも、景気が良いのは一部だけ。一般には何も変わらないとよく耳にします。取り引き企業も不採算事業の見直しや、規模縮小などと伺うことがあります。
	レストラン	1件あたりの会合では、単価が下がったり、人数が減っている会合が多くなったと感じます。今後の忘年会、新年会等でも同様（会社→課ごとに実施）など縮小化が考えられます。
	割烹料理店	農業が良くならない限り、景気は良くなりません。
	都市型ホテル	景気回復の状況も良くない中、異常気象による野菜等の値上げにより、景気悪化につながらなければいいと思う。
	観光型ホテル	景気のせいなのか、嗜好が変わったのか解らないが低価格商品のシェアが増えている。
	旅行代理店	旅行業界では中国との関係の影響が大きくアウトバウンド・インバウンドともに先行き不透明。最近では中国からのインバウンド1万人がキャンセルとなり、話題になっている（本県での直接の影響はまだ少ない）。
	タクシー運転手	景気が良くなっていく実感がない。
	タクシー運転手	経費削減の為、タクシーを利用できないようだ。
	ドライブイン	茨城空港ができて、台湾・中国のお客様は少し立ち寄りが増えました。又、団体ツアーの食事も、比率が日本7：外国3の割合という状況です。
	ゴルフ場	当倶楽部は、歩きプレーのため夏場の猛暑時には敬遠されているかもしれない。他のゴルフ場は乗用カートがあるため、問い合わせが多い。
	レジャー施設	お土産品の購入を控える傾向は、引き続きみられるが、売り上げ点数の減より単価減の方が顕著である。
理・美容店	車、自転車などで通った時に昔からあった家が無く、更地になった近所が増えたように思いました。	
建築設計事務所	若い設計技術者の求人があるようだ。	
企業	製造業（印刷・同関連業）	社有地の一部に道路がかかり売れた。資金繰りにはずみがつけばと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	景気低迷により消費者の購買意欲がない。円高により海外より入っている製品が安くなり、国内で生産した製品で価格競争に勝てない。
	製造業（一般機械器具）	質問2の関連（建設機械関連、医用関連、自動車の一部）のみが多少元気であとは元気が出てこない。円高、株安、政治、不安材ばかりです。暑すぎて庭の野菜も秋に入ってしまった。農家の秋は大変でしょう。
	製造業（精密機械器具）	自社製品の国内・海外出荷額は減少傾向が見られるものの、OEMの海外売上額が増加傾向にある為、会社全体としての売上は昨年対比で増加しています。
	運輸業（道路貨物運送業）	21年産米の過剰在庫があるため、22年産の新米の販売価格が下落している様である。
	情報通信業（情報サービス業）	半年先の景気動向は、まったく予測できないとの話が多く、元気な話題を聞くことが少ない。特に、小売店経営者からは、顧客の購入単価が右肩下がりであり、商売維持が大変であるとの悲鳴を聞く。景気の変動に余り縁がないと思っていた若者の購買意欲にも、最近景気低迷の影響が現れてきているのではないかと。
	金融業	9月の中間決算期においては、例年通り自動車のセールなども多く催されているが、エコカー減税の終了や補助金の対象期間終了が迫っていることもあって、販売は伸び悩んでいる。金融機関での自動車ローンの借入申込みも多くは無いことから、消費意欲は高まっているわけではなさそうだ。
	不動産業	収益物件購入希望の問合せが、融資不成立でなかなか成約に至らない。

	サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地の歩行者通行量が依然として落ち込んでいる。特に、休日は横ばいだったのに対し、平日の下落幅が大きい。事業の移転・集約などで、中心業務地区で働く会社員の数が減っていると思われる。
雇用	公共職業安定所	新規学卒者を取り巻く環境はさらに厳しく、政府の雇用対策を期待しつつも、企業側へは可能な限りチャンスを用意してほしい。
	学校就業関係者	今年の夏の猛暑のため、冷房代にかかる電気料金が増え、契約アンペアを超えた分が加わり、高額となりました。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	数年前に近隣の店舗が、向う三軒余り時期を違わずして夜逃げしました。これは江戸時代でも起こらなかった惨状でしょう。その内の二ヶ所が更地同然になりました。過剰人口を抱いていない日本は、地方・都市部共に豊かな社会を創る転換期であり、その能力を生かす時だと思います。
	商店街代表者	この夏のイベントは暑い中にもかかわらず、来場者が昨年より多く、どのイベントも多くの人出で賑わった。
	商店街代表者	ロードサイド店の出店が止まらなく、元からの商店は今後ますます厳しくなる。お客様も二極化がさらに進んでいくと思う。
	スーパー	年配のお客様が特にチラシの目玉商品を良く見るようになり、その商品を売場で聞かれます。
	コンビニエンスストア	客単価が大きく下がっている店舗が多い。来店客数の大幅なアップでカバーしているが、良くない状況。無駄なものを買わない、というよりも意識的な節約をする方が増えているのではないかな。
	家電販売店	エコポイントや地デジ移行の為今年と来年7月までは良いが、2012年の下期からは副作用で一気に景気が悪くなる感じがします。
	自動車販売店	今年の卒業した子供達（高校・大学）で職が見つからない子が5人位いる。身近な所でも。
	小売業（金物店）	小さな工事でも大手建設会社が工事を受注しています。今は県内の工事業者に優先的に仕事を出してほしいと思います。なぜならば地元にお金がおちないからです。今は中小零細の業者を守るべきだと思う。
	洋食食堂	・連日の暑さの割には冷たいドリンク、ビール等の売り上げが毎月の売り上げとさほど変わらなかった。 ・ランチはやはり低価格のものに人気がある。 来店客数も少しずつ前年をクリアできている。
	割烹料理店	友人が車の修理工場を営んでいるが、エコカー割引で新車が売れているので故障しづらく、車の修理の仕事が無くなってきて、暇だと言っていた。
	日本料理店	仕入れのために市場に行くが、同業者も必要な分だけ買われる方が多くなったり、市場の活気が少なくなっている。
	観光型ホテル	日帰り（スポーツ施設）利用者が多くなっている。
	タクシー運転手	今と同じ。
	ドライブイン	猛暑が続いているため、飲料関係や冷菓などは好調であるが、農産物の不作が懸念されている。
	理・美容店	一部の産業は景気が上向きになっていると感じます。食品系の産業廃棄物リサイクルなど。
クリーニング店	米生産農家では、米の値段が昨年から比べると1俵あたり500円から1,000円位安いようです。経費が出ないようです。（※コシヒカリで12,000～13,000位です）	
企業	農業関係者	銚田市農業のイメージアップ作戦として、農作物ブランドの2次加工品を海外へ輸出し、売れ行きを調べている。品質自体は最高レベルにあると自負しており、大きな期待をしている。
	製造業（食料品）	・相変わらず消費が落ち込んでいる。 ・不景気そのものである。
	製造業（食料品）	以前は技術者を募集しても応募者が全く無かったが、現在はすぐに何人か見つかれば即戦力を付ける事が出来る。時期的な事もあるが、経済的不安定の現れに感じますがどうでしょうか？
	製造業（化学工業）	やはり、秋以降、需要の低迷により、大幅に稼働が下がるのではといった不安の声が多い。
	製造業（食料品製造）	セルフスタンドのガソリンも少し値上がっている。干芋加工で灯油を使用する。昨年より高くなると予想します。色々な面で節約しようと思ってしまう。
	製造業（鉄鋼業）	飲食店の駐車場に空きが目立つ様に感じる。
	運輸業（道路貨物運送業）	「いやな世の中になり、情緒がなくなって来ている・・・」と近所の集まりで話題となる。これは一番困った現象である。
	金融業	返済額軽減の相談も一段落し、落ち着いてきている。
	保険業	結婚しない人が多く、人口の減少が続いている。
	不動産業	弊社管理のアパートに入居中の方で、生活保護の申請をし、許可がおりている方が何名かおられます。年配の方、病気の方はやむを得ないと思いますが、40歳前後の方が申請するのは仕事がないと言う事？景気が悪いのかと思ってしまう。
	サービス業	景気の回復傾向が、業界によって不均一であると感じる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	デフレ価格破壊が進み、働く社員や受け取る賃金にも関係し、政府の景気対策もはっきり分からなく、早く安定経済になってほしいと願う。
	スーパー	高温の影響で売れ筋が変化。秋の売場が作りにくい。
	スーパー	アルバイトの高校3年生の就職がまだ決まっていないと言っており（数人）、求人も減っている様子。
	スーパー	特売品の構成比が高い状況で推移している。お客様は依然価格に敏感である。
	コンビニエンスストア	・価格は多少高くても、欲しい物は手に入れる人が多い。 ・少しでも得をする買い物の仕方が買い物の楽しみになっている人が多いと思います。
	農産物直売所	不景気の為、他の店でも苦戦している様子。
	専門スーパー	外食する回数が減り、または、安価な回転すしが大賑わいになっているように、益々客単価が落ちていっている。
	ガソリンスタンド	うわさであるが我々の商売の跡継ぎがない。
	和食食堂	若干安いもの思考から抜けつつあるように感じます。
	洋食食堂	私事で9月は、ほとんど店を開店できず残念だったが、多くの方々から連絡を頂き感謝に耐えない。特に夜のパーティーに利用して下さる市外の企業の方々には迷惑をかけたが、「またよろしく願います。」の一言が今後に期待できそうである。
	洋食食堂	・私は、オフハウスというリユースの店でブランド品の良い物に出会った時、つい買ってしまいます。 ・ファッション関係ですが、バッグのセールが多いと感じます（松坂屋、三越、高島屋本店など）。ブランド物のバッグでも、定価もわからないけど買いやすい値段ですとみんな群がって数点買っています。それなりの物だと思いますが何でも良いんです、ブランドで手頃であれば。反面、最初から高級な所は入店しようとさえしなくなりますね。アウトレットでも全然入ってませんでした（サンローラン、バリー、ディオール等）
	寿司店	政局が混迷している、信の政治家が現れて欲しい。お客様の声です。
	都市型ホテル	質問2のピアガーデンは良かった事もあり、1週間延長した。
	タクシー運転手	タクシーはだいたい5年ぐらいで買い換えでしたが、今は7～8年は当たり前に乗っています。近所のお年寄りもタクシーに乗らず、病院が用意する送迎バスに切り替えている。
	タクシー運転手	当社内では7月、8月と例年に無い暑さの為か、それによる若干の特需的な動きがあった。
	タクシー運転手	昼間はそこそこ動いても肝心の夜が全くダメ。しかも酔客とのトラブルも増えた気がする。
	タクシー運転手	不況によるモラルやマナーの低下が進んでいる。（景気の）好転がなければ、ますます悪化を辿る。
	ゴルフ場	猛暑のせいか、全般に自宅で過ごす人が多いようです。
	ゴルフ場	ここ半年程、良いと思われる情報はほとんど聞く事が無い。但し、この夏は9月に入った現在も飲物（スポーツドリンク）が好調に売れている。
	ゲームセンター	安売りをしていた近隣のゲームセンターの経営会社の変更するようです。
レジャー施設	土浦市観光の告知、霞ヶ浦への来客用告知があればよい。当社は、観光遊覧業のPR（土浦花火大会、千葉県香取市佐原のお祭り、銚子クルーズ等）を多数行っております。	
理・美容店	ますます物の価値が下がり、牛丼などももう底値だろうと思われる価格になり、料金を下げざるを得ない・・・厳しい時期なのか？	
理・美容店	打つ手がなくなっている。	
建築設計事務所	住宅メーカーの仕事量が多いようである。	
住宅販売会社	派遣会社から、雇用の需要が増加してきたという話を聞いた。ゆっくりではあるが、回復してきているようだ。	
企業	製造業（家具・装備品）	取引先の機械設備関係の営業の話（関東甲信越担当）、わずかですが設備は増えています、との話でした。
	製造業（食料品）	3ヵ月後はギフト期となるが、売上は期待出来ない。年毎にギフト単価が小さくなっている。
	製造業（食料品）	駅前の大型店が閉店し、今まで以上に人の動きが少なくなっている。
	製造業（窯業・土石製品）	①猛暑でエアコンが売れたりエコカー減税で車が売れたりしますが、先食いしているだけです。 ②円高が続いておりますが、ガソリン代が125円位で値下がりしていませんがどうなっているのでしょうか。 ③いつも申し上げておりますが、国の政策をきっちりとした目標のもとに実施しなければ景気の回復は望めません。民主党政権には経済政策に関しリーダーシップをとれる人がいるのでしょうか。このままいくと経済が破滅してしまうのではないのでしょうか。
	製造業（窯業・土石製品）	異常な暑さで好調な業種と不調な業種との差が激しいのではないかと。

製造業(非鉄金属)	自動車メーカーのグローバル化による部品調達を海外へ向けることを急いでおり、コストダウンと合わせ強い要請がある。公取違反まがいのすれすれまで言ってくる今日この頃である。	
製造業(一般機械器具)	特徴的な動きはありません。	
建設業	取引先の社長から、インド、中国、韓国、台湾などの金持ちが日本に来てビル(中古)を買いあさっている、現実に友人の不動産屋が仲介に立ち会っている、特に医者も多いようだ。昨年の秋口から～・・・。売る方は相手が誰でもかまわないようです。即売りたい人が多い。	
建設業	近辺の土地の取引価格が下がってきているということを、よく耳にする。	
建設業(設備工事業)	業界に限らず、異業種の方々からも閉塞感を覚える。	
不動産業	手をこまねいていると景気は悪くなっていくと思う。危機管理を考え、対策を早めに出していれば逆に今がチャンスと思う。当社も全社的に昨対比を大幅に出しており、今までの経営姿勢が認められ、かえって差別化が計れる。	
雇用	人材派遣業	今後の派遣法に関する動向を気にしている企業が増え、忙しい中でも人員の増員を控える兆候が少々見受けられる。
	求人広告	介護と病院は動きが活発である。
	学校就職関係者	身の回りでは、エコカー補助金、エコポイント、住宅関連の優遇制度による消費が非常に目立っている。
	求人開拓員	求人企業の申込みは増加しているが、求職者の転職希望が高い。範囲(通勤)・賃金などの条件を下げてのアドバイスもあまり効果がない。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	スーパーでは中年～初老の男性の一人での買い物客が目立つ。
	商店街代表者	地元自治体で産業支援事業の一環として、事業費6億2000万円をかけて、昨年実行したスーパープレミアム商品券を再び発行する（1万円が1万2000円の買い物が出る）。消費の起爆剤になる事を期待する！
	コンビニエンスストア	地域によって異なりますが、守谷市においてはアパートの建築など工事現場がここに来て増えてきた様に感じる。それに合わせて、作業員の来店も増えてきている。取手市においては変化無し。景気回復の兆しであれば良いなと思っている状況。
	コンビニエンスストア	近隣の自治会から弁当の予約注文を受けるお店がありますが、今までよりも安い弁当の注文が増えています。飲み物の注文もなくなっており、節約志向が強まっていると思います。
	家電販売店	地上波デジタルアンテナの普及率が悪い為、更なる販促策の必要性を感じる。
	自動車販売店	自動車販売店では補助金が終了するとマスコミ・テレビ等で報道している為、お客様は（間に合わない）めっきり店頭来店が減っています。
	農産物直売所	エコポイントの影響等により購買に偏りが出ているのではないかと？
	ガソリンスタンド	洗車やオイル交換でも、一番安いメニューを選択する方が多い。
	和食食堂	落ち着いていると言えば聞こえは良いが、現在は低迷状態ではないだろうか？
	鰻屋	道路（高速）が空いている。大型、営業車が少ない事は、動きが無い状態であると思います。
	都市型ホテル	ここ2～3日で近くのコンビニが2店舗やめてしまった。地域のためにも頑張らなくてはならないと思う。
	ビジネスホテル	※ブラジル人等、外国人労働者が少なくなり、地域の不動産（貸家）の空室が目立つ。
	タクシー運転手	昨年実施したプレミアム商品券を、昨年より増額してプレミアム分を20%にして、6億円分の商品券を発行する。
	タクシー運転手	最近では病院等への通院は、体が不自由等で、タクシーがどうしても必要なお客様のみの利用が目立つように思います。
	タクシー運転手	回りは農村地帯が主であり、米の価格が下がり買い物にも出られないとの話を良く聞く。
	ドライブイン	空き店舗や更地になっている場所が増えた。
	ドライブイン	牛井チェーン・衣料品に代表されるような低価格競争が日常化しており、価格に対しより敏感になってきている。反面、こだわり商品、オリジナル商品に対する関心も以前より増しているように感じる。
	ゲームセンター	日用品、特に食品の値段が上がってきているものが多いので、このままの状態が続くと景気に悪影響が出ると思う。
	レジャー施設	団体での予約が少なくなっている。
	理・美容店	エコカーを導入した方が結構いる。補助金の打ち切りは何かならないのだろうか。購入客数をみずみず無くすようでは、いかがなものかと思う。
理・美容店	近くの工業団地で閉鎖されている工場が増えてきている。通勤途中で来店される人もいたのでひびいてくると思う。	
住宅販売会社	施策（エコポイント、低金利、太陽光補助金等）への問い合わせは多い。住宅購入の動機付けとして上手く作用してくれることを願っている。	
企業	農業関係者	果実の単価が今までになく全体量が少ないので高額になっている。
	農業関係者	景気対策を望む声があります。
	製造業（食料品）	急激な円高と猛暑という気候的なものと二つの要因がどう影響を与えるか注意深く状況をみていきたい。
	製造業（食料品）	これまではあまり顔を出さなかった銀行担当者が頻繁に来社し、融資の枠取りのみでも良いので取引してほしいと言ってくる。
	製造業（印刷・同関連業）	エコカー減税も終わった。日本の景気を大きく左右する車の販売に、どうこれから影響していくのか――。地方の商店はシャッターを下ろすところが減らない。どこでも何か手立てがないか、又、商店街でも知恵を出し合っているが、ままならないのが現状だ。
	製造業（印刷・同関連業）	円高は、私達の業界にとっては、喜ばしいこと。財政政策の失敗によるパイパーインフレが恐ろしい。
	製造業（窯業・土石製品）	我々の仕事も中国の影響を受けるようになり、今中国もかなり仕事なくなり廃業も多くなり、縮小をしているのは普通と聞いている。

製造業（窯業・土石製品）	先週の日曜日、あるうなぎ料理店へ昼食を取りに行ったら、1時過ぎでしたがあまりのお客様の多い（100人以上、150人近く）のにビックリし、そして料理が出るまで一時間近く待たされたけど、皆さん何の不平・不満もなく、食事を楽しんでおられました。この店は他店に比べて高いので有名なのですよ。ここに、商売の「おもしろさ」「むずかしさ」を垣間見ることができます。	
製造業（金属製品）	発注企業の低コストへの要求はますます強くなり“買い時”と考えている感がある。	
建設業	エコ補助金の部分は多少いいと思うが、小売店、工場、暑さによる農作物被害とまったく良くない。	
金融業	猛暑の影響により、市営プールの入場者数も過去10年で最多の16万5千人を超えた（前年比36.7%増）。関連の民間業者（売店）の販売額も増加した。	
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ・新築が売れず中古が良く売れる。 ・生活保護者、市の支援事業の世話になる方が増加傾向。 	
サービス業（コンサルタント業）	中小企業経営者もあまりの減収継続に半ばあきらめ顔である。これからは体力勝負で会社の体力の希弱なところはもたずに倒産していきたくらうとの見方をしている経営者が多くなっています。	
雇用	求人広告	エコ、地デジ関係の仕事は伸びそう。
	公共職業安定所	安い商品を求めていたが、安い商品だけでは飽きてきたため、少し高めのを求めるようになった。購買意欲は落ちていないと思う。
	学校就職関係者	9月の就職活動時期に入り、企業からの求人についての問い合わせが多くなった。ただ、未だ企業の買い手市場は続いており、景気がやや良くなっているならば、売り手である学生が最も安く買い叩かれる瞬間に来ていると考えられるので、慎重に推移を観察したい。
	就職相談員	製造工の求人には複数求人が増えているので、製造業でも業界によって景気回復にバラツキが感じられる。